

R1 年度

2019

地方独立行政法人 静岡県立総合病院機構

静岡県立総合病院

臨床指標 (Clinical Indicators)

医療の質指標 (Quality Indicators)



## 目次

1. 日本病院会 QI プロジェクト 2019(QI 推進事業)結果報告	QI(医療の質評価)指標一覧【DPC
データ外、当院抽出データ】.....	1
No.1-a 患者満足度(外来患者)満足.....	2
No.1-b 患者満足度(外来患者) 満足またはやや満足.....	3
No.2-a 患者満足度(入院患者) 満足.....	4
No.2-b 患者満足度(入院患者) 満足またはやや満足.....	5
No.3 死亡退院患者率.....	6
No.4-a 入院患者の転倒・転落発生率.....	7
No.4-b 入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル2以上).....	8
No.5 褥瘡発生率(d2以上).....	9
No.6 紹介率.....	10
No.7 逆紹介率.....	11
No.8 救急車・ホットライン応需率.....	12
No.9 特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率.....	13
No.10 特定術式における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬停止率.....	14
No.11 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率.....	15
No.12-a 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<7.0%.....	16
No.12-b 65 歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<8.0%.....	17
2. 死亡統計.....	18
3. 剖検数.....	29
4. 退院後 28 日以内の再入院数(目的別).....	30
5. 手術統計.....	36

# 1. 日本病院会 QI プロジェクト 2019 (QI 推進事業) 結果報告

## QI(医療の質評価)指標一覧【DPC データ外、当院抽出データ】

No.		領域	QI 指標名
1-a	患者満足	outcome	患者満足度(外来患者)満足
1-b	患者満足	outcome	患者満足度(外来患者)満足またはやや満足
2-a	患者満足	outcome	患者満足度(入院患者)満足
2-b	患者満足	outcome	患者満足度(入院患者)満足またはやや満足
3	病院全体	outcome	死亡退院患者率
4-a	病院全体	outcome	入院患者の転倒・転落発生率
4-b	病院全体	outcome	入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル2以上)
5	病院全体	outcome	褥瘡発生率(d2以上)
6	地域連携	process	紹介率
7	地域連携	process	逆紹介率
8	病院全体	process	救急車・ホットラインの応需率
9	病院全体	process	特定術式における手術開始 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率
10	病院全体	process	特定術式における術後 24 時間(心臓手術は 48 時間)以内の予防的抗菌薬投与停止率
11	病院全体	process	特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率
12-a	疾患・領域	outcome	糖尿病患者血糖コントロール HbA1c(NGSP)<7.0%
12-b	疾患・領域	outcome	65 歳以上の糖尿病患者血糖コントロール HbA1c(NGSP)<8.0%

### 【収集期間】

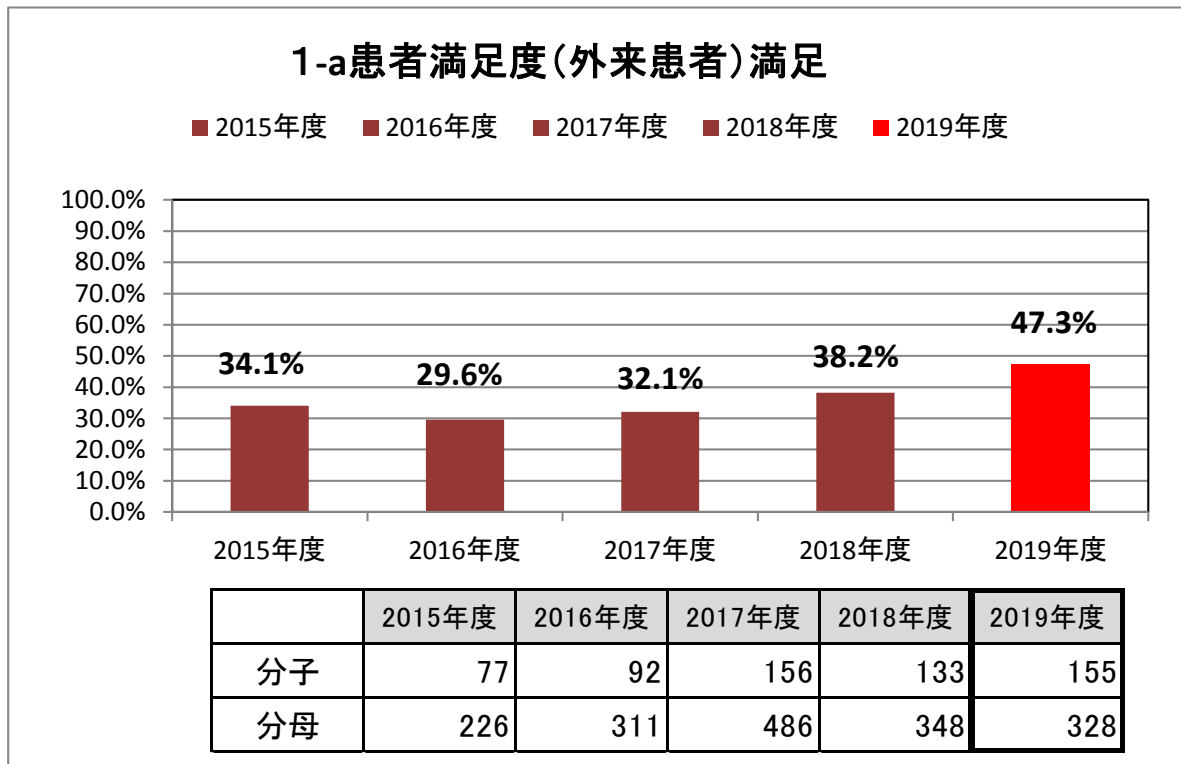
2019 年度[2019 年4月1日～2020 年3月 31 日]

## No.1-a 患者満足度(外来患者)満足

分子：「この病院について総合的にどう思われますか？」の設問に満足と回答した  
外来患者数

分母：患者満足度調査に回答した外来患者数  
・除外 未記入患者

収集期間：2日以上(年1回)



※上記は5段階評価で実施

1	2	3	4	5
不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足

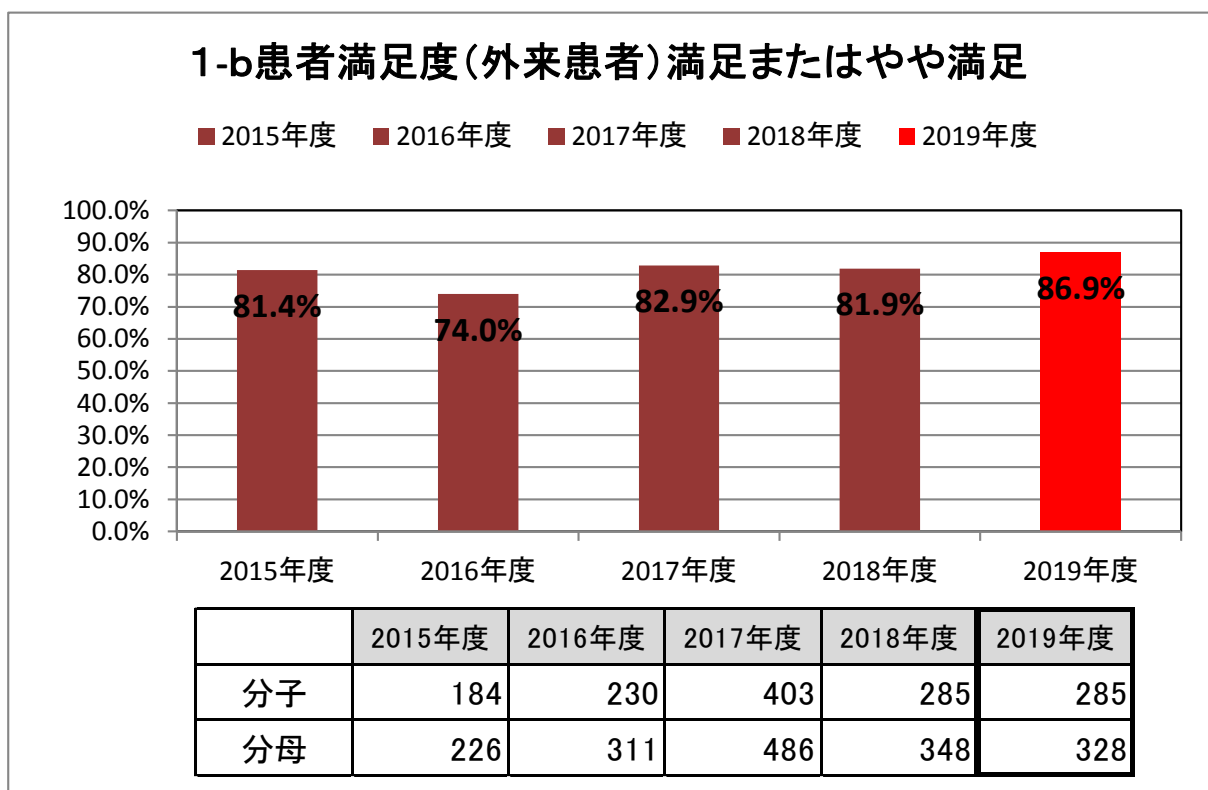
## No.1-b 患者満足度(外来患者) 満足またはやや満足

分子 : 「この病院について総合的にどう思われますか?」の設問に満足またはやや満足と回答した外来患者数

分母 : 患者満足度調査に回答した外来患者数

・除外 未記入患者

収集期間:2日以上(年1回)



※上記は5段階評価で実施

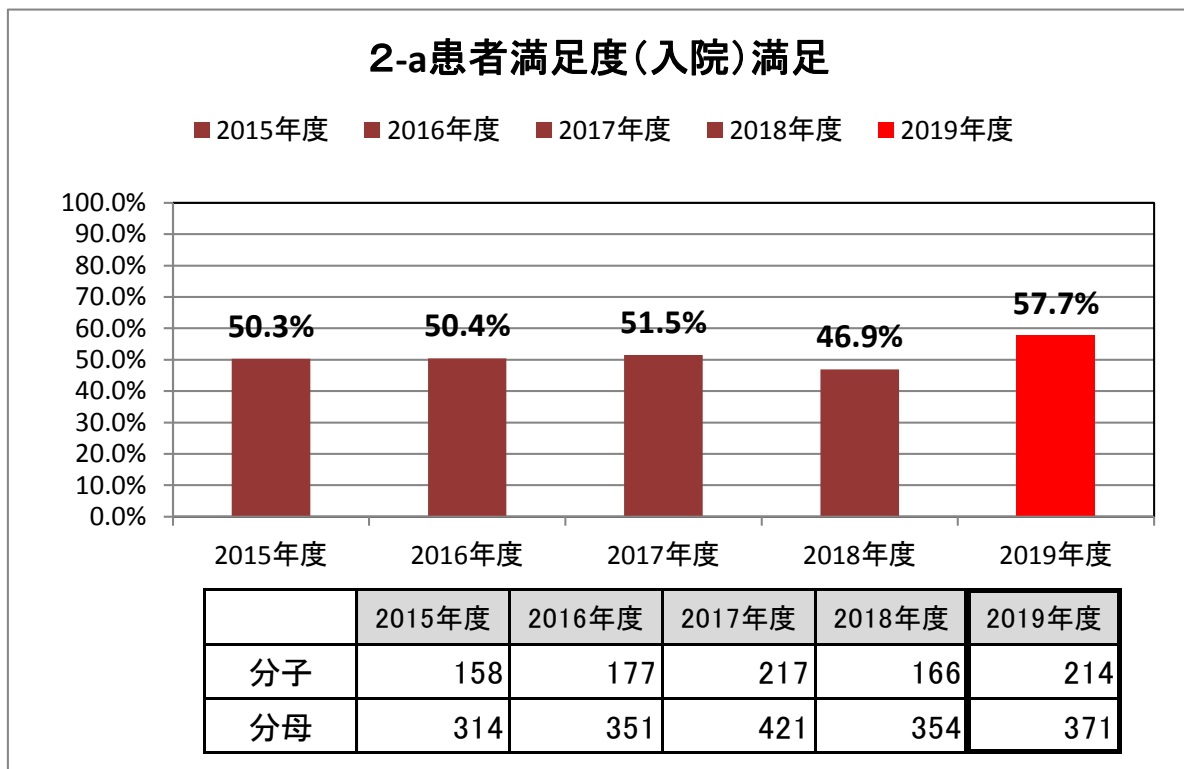
1	2	3	4	5
不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足

## No.2-a 患者満足度(入院患者) 満足

分子 :「この病院について総合的にどう思われますか？」の設問に満足と回答した  
入院患者数

分母 :患者満足度調査に回答した入院患者数  
・除外 未記入患者

収集期間:1週間以上(年1回)



※上記は5段階評価で実施

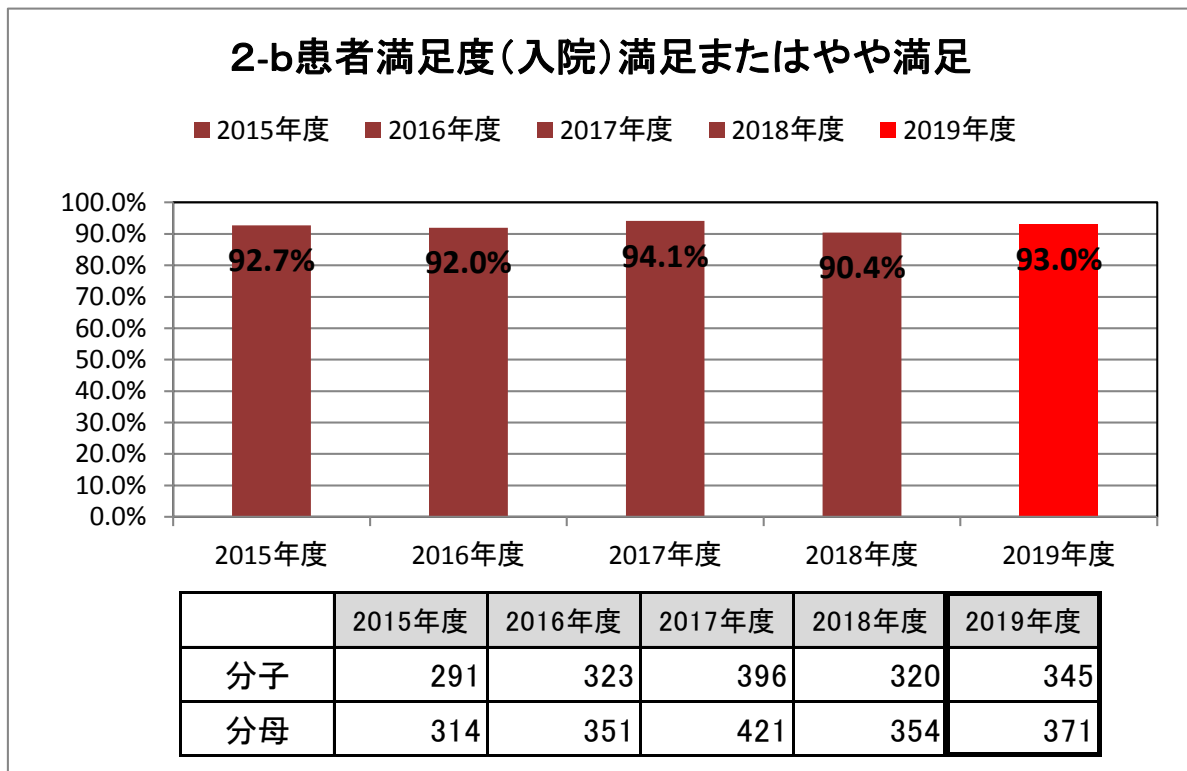
1	2	3	4	5
不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足

## No.2-b 患者満足度(入院患者) 満足またはやや満足

分子 : 「この病院について総合的にどう思われますか？」の設問に満足またはやや満足と回答した入院患者数

分母 : 患者満足度調査に回答した入院患者数  
・除外 未記入患者

収集期間: 1週間以上(年1回)



※上記は5段階評価で実施

1	2	3	4	5
不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足

### No.3 死亡退院患者率

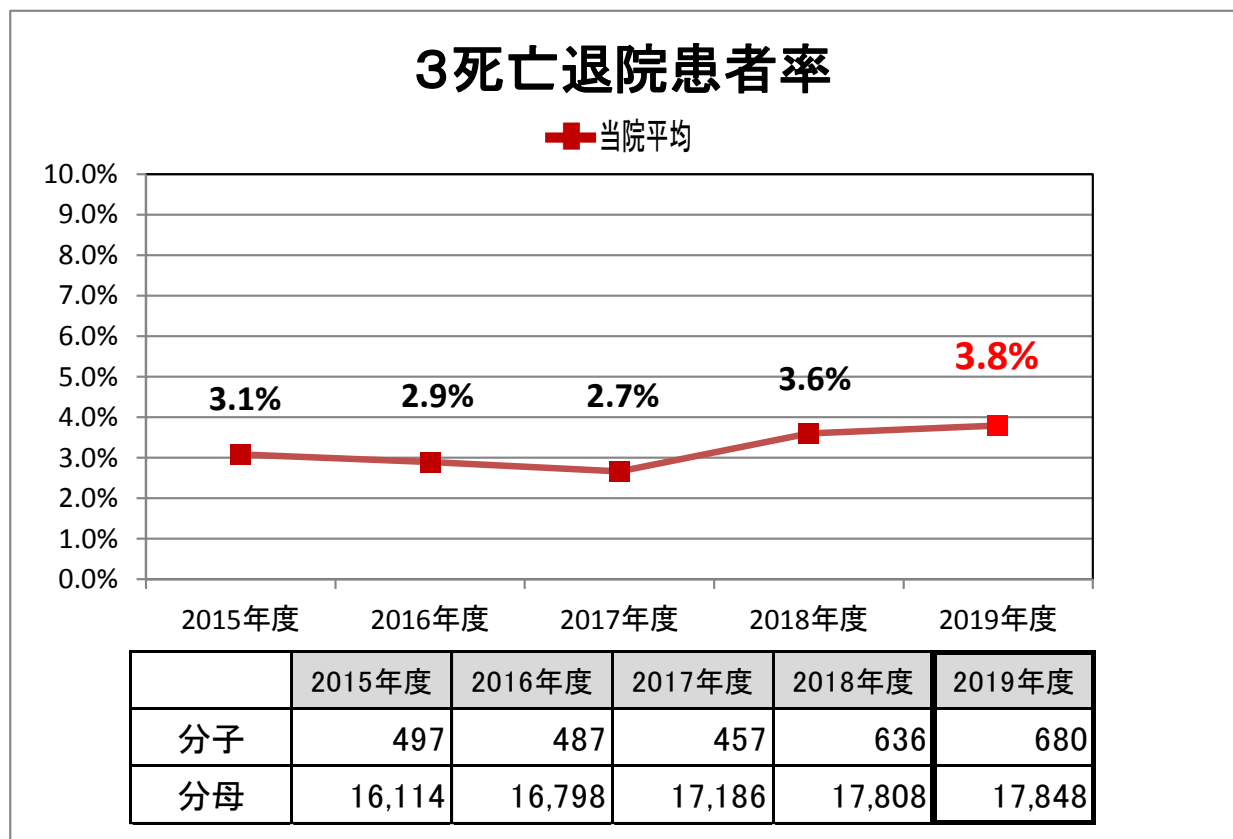
分子 : 分母のうち死亡退院患者数

分母 : 退院患者数

・除外

- DPCで様式1に含まれる「救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保健医療機関が救急医療を担う施設として確保するとされている専用病床に入院したものとみなされるもの(死亡時の1日の入院料等を算定するもの)」
- 緩和ケア等退院患者(緩和ケア等には、診療報酬の算定を許可された病棟のみでなく、同様の病棟、診療科を設置している場合も含む)

収集期間: 1ヶ月毎



※抽出期間: 1年間

※2018年度集計分から算出方法の見直しを行った為、値が大きくなっている。

(除外対象である緩和ケア等退院患者の取り扱いについて、2014-2017年度は緩和ケア実施患者を除外していたが、当院は緩和病棟がないため2018年度分から除外しないこととした)

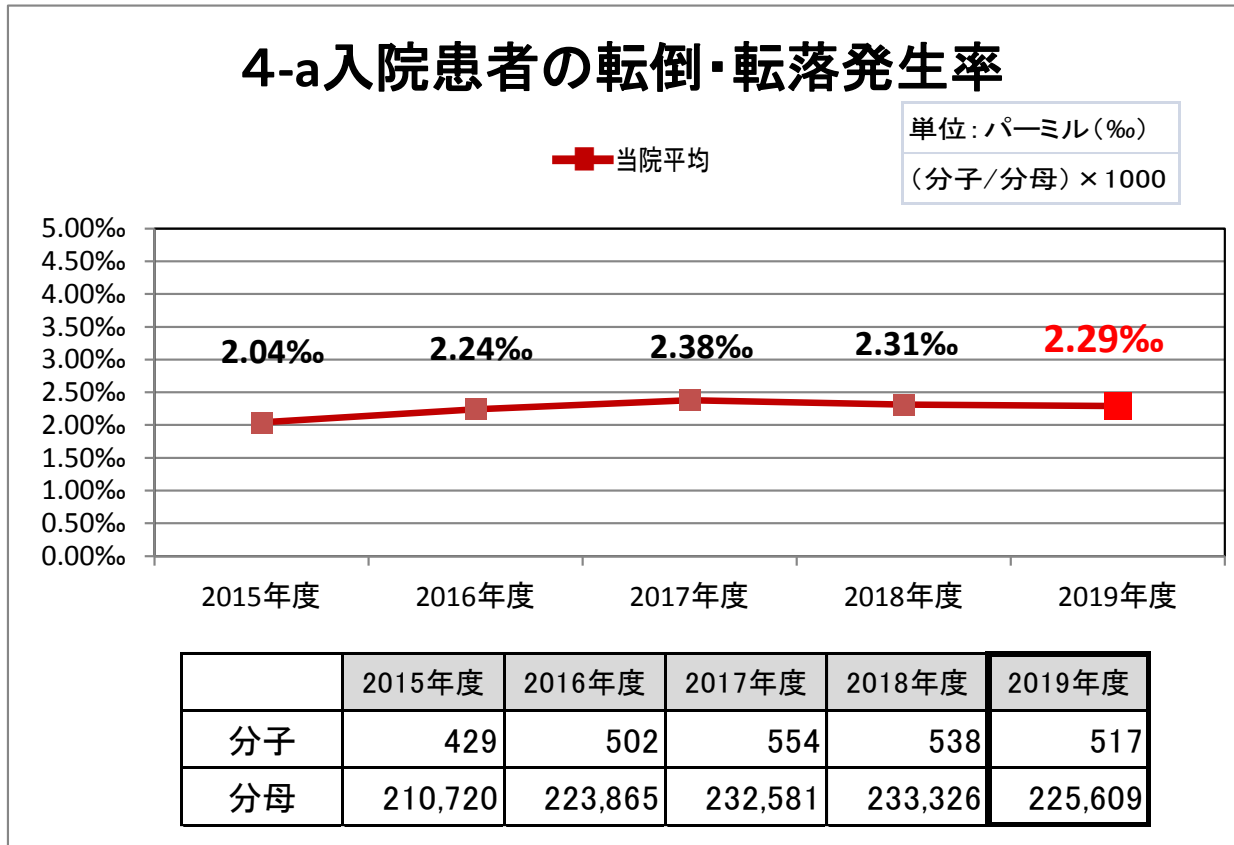


## No.4-a 入院患者の転倒・転落発生率

分子 : 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

分母 : 入院延べ患者数 (人日)

収集期間: 1ヶ月毎



※抽出期間: 1年間

## No.4-b 入院患者の転倒・転落による損傷発生率(レベル2以上)

分子 : 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数  
のうち損傷レベル2以上の件数

分母 : 入院延べ患者数 (人日)

収集期間: 1ヶ月毎

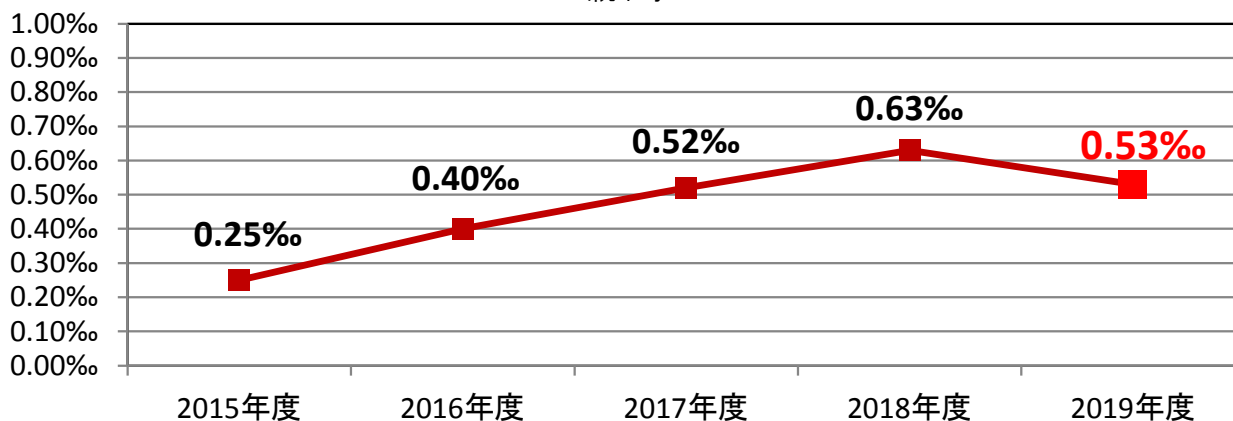
<損傷レベル>		「JCAHOの定義」
レベル		説明
1	なし	患者に損傷はなかった
2	軽度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の拳上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
5	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	UTD	記録からは判定不可能

### 4-b入院患者の転倒・転落による損傷発生率 (レベル2以上)

単位: パーミル(‰)

(分子/分母) × 1000

■ 当院平均



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
分子	53	89	122	146	120
分母	210,720	223,865	232,581	233,326	225,609

※抽出期間: 1年間

## No.5 褥瘡発生率(d2以上)

分子 : 調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数

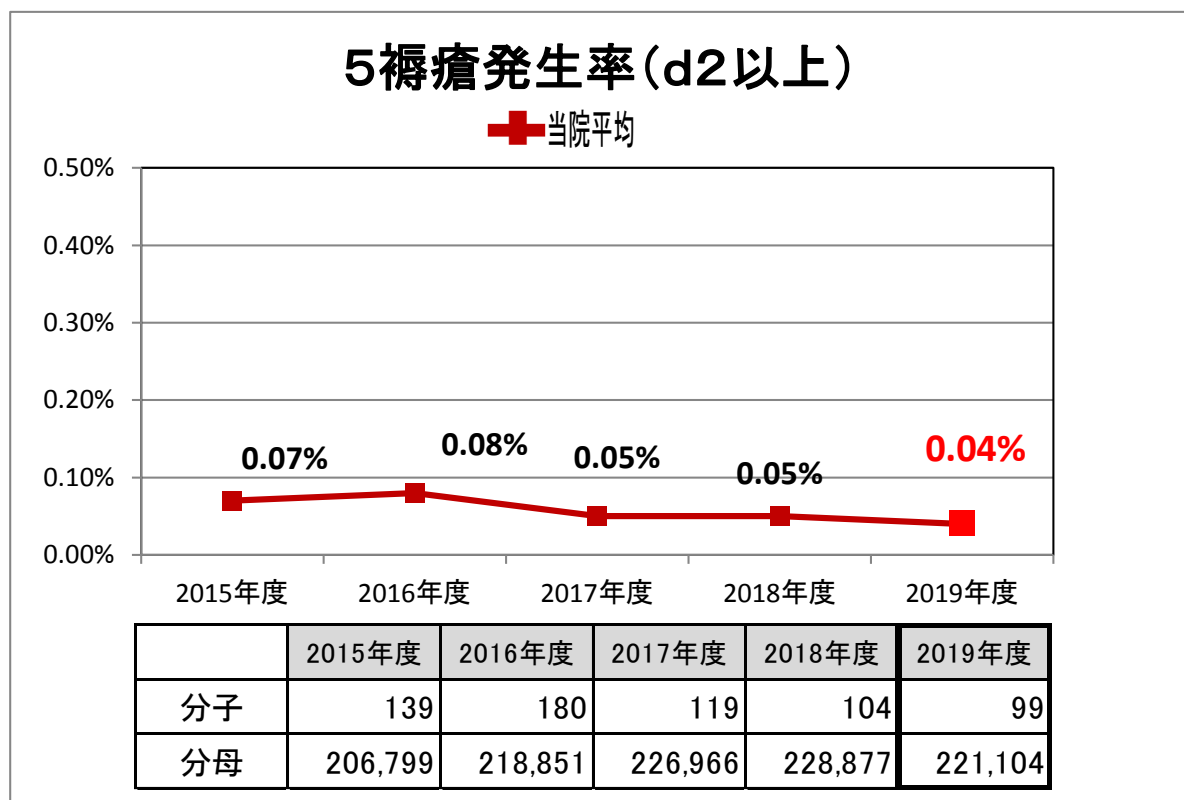
分母 : 入院延べ患者数 (人日)

・除外

- 日帰り入院患者(同日入退院患者も含む)
- 入院時にすでに褥瘡保有が記録されていた患者

収集期間: 1ヶ月毎

<Depth(深さ)>	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織をこえる損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合



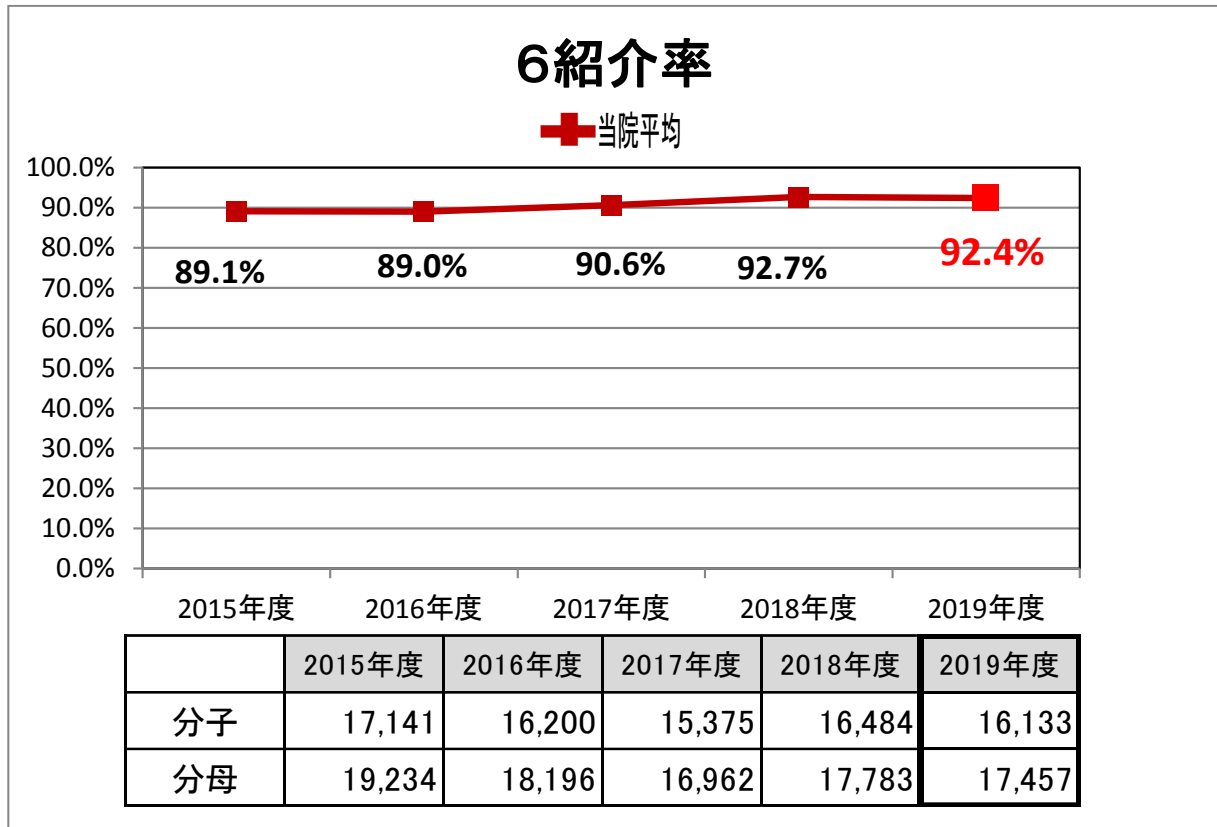
※抽出期間: 1年間

## No.6 紹介率

分子：紹介初診患者数＋（初診緊急入院患者数－初診緊急入院患者のうち紹介患者数）

分母：初診患者数－（休日・夜間の初診救急患者数＋休日・夜間の初診救急入院患者数）

収集期間：1ヶ月毎



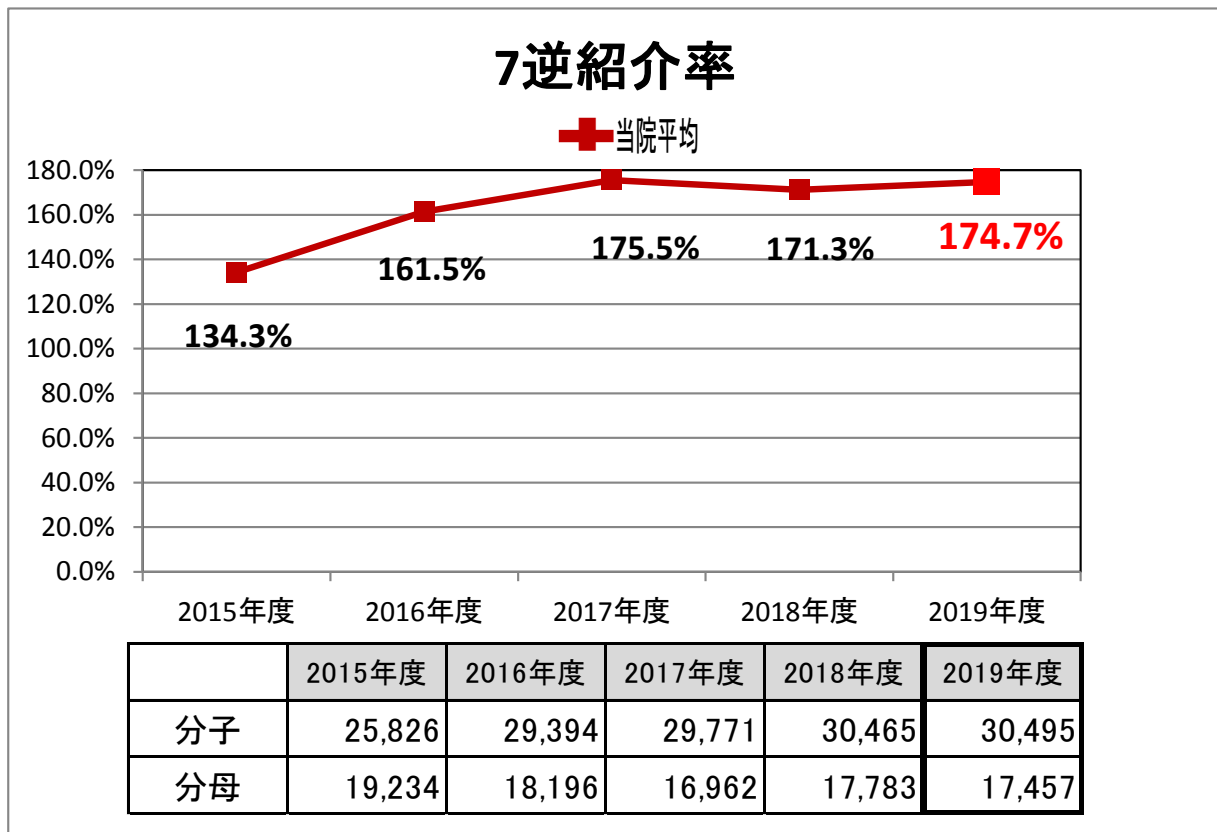
※抽出期間：1年間

## No.7 逆紹介率

分子：逆紹介患者数

分母：初診患者数－(休日・夜間の初診救急患者数－休日・夜間の初診救急入院患者数)

収集期間：1ヶ月毎



※抽出期間：1年間

※同一患者で複数逆紹介することがあり、患者実数より大きくなる場合がある。

## No.8 救急車・ホットライン応需率

分子 : 救急車で来院した患者数

分母 : 救急車受け入れ要請人数

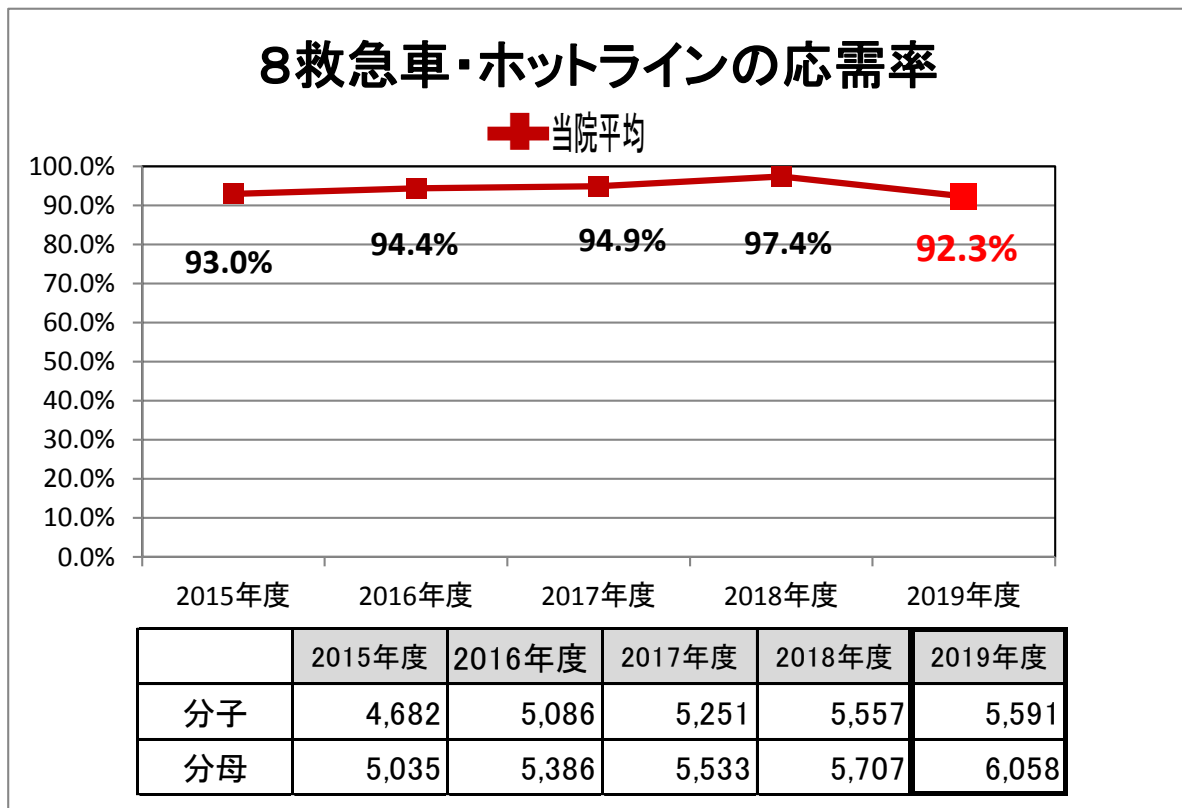
・除外

- 他院からの搬送(転送)人数

- ヘリコプターによる搬送(転送)人数

※この指標においては、静岡市消防防災局救急課からのデータに基づく

収集期間: 1ヶ月毎



※抽出期間: 1年間

## No.9 特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

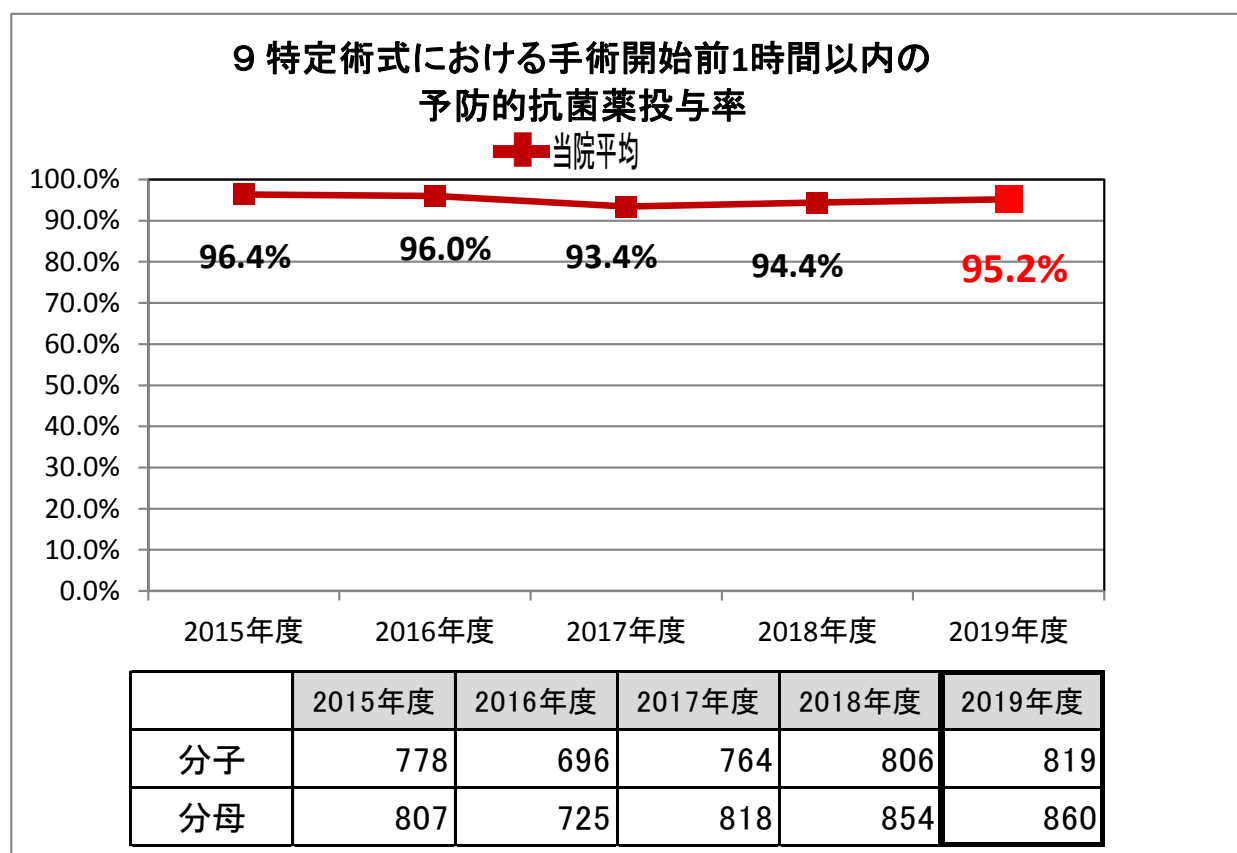
分子 : 手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数

分母 : 特定術式の手術件数 (冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術)

・除外

- 入院時年齢が18歳未満の患者
- 在院日数が120日以上 of 患者
- 帝王切開手術施行患者
- 臨床試験・治験を実施している患者
- 術前に感染が明記されている患者
- 全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が主たる術式の前後3日(主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は4日)に行われた患者(日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を起点とする)
- 手術開始日時の24時間前に抗菌薬を投与されている患者(大腸手術でフラジールおよびカナマイシンを投与されている場合は除外の必要なし)
- 外来手術施行患者

収集期間:1ヶ月毎



※抽出期間:1年間

## No.10 特定術式における術後 24 時間以内の予防的抗菌薬停止率

分子 : 術後 24 時間以内に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数  
(冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合 48 時間以内)

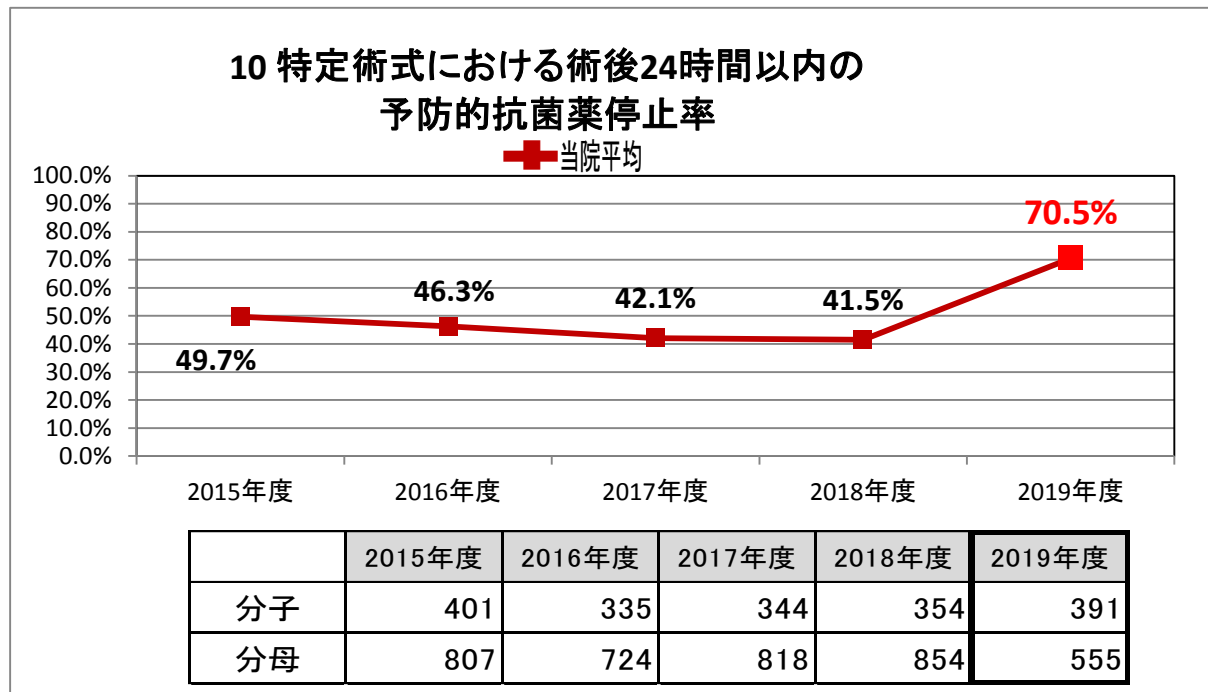
分母 : 特定術式の手術件数

2018 年度まで(冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭 置換術、  
膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術)の 7 手術

2019 年度 (冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、大腸手術、子宮全摘除術)の 4 手術  
・除外

- 入院時年齢が 18 歳未満の患者
- 在院日数が 120 日以上の患者
- 帝王切開手術施行患者
- 臨床試験・治験を実施している患者
- 術前に感染が明記されている患者
- 全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が主たる術式の前後3日(主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は4日)に行われた患者  
(日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を起点とする)
- 術後の抗菌薬長期投与の理由が記載されている
- 手術室内または回復室内での死亡患者

収集期間: 1ヶ月毎



※抽出期間: 1年間

※2015-2018 年度の特定術式は、冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術の 7 つであったが、2019 年度から国内、国外のガイドラインの推奨グレードが異なることにより、特定術式を、冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、大腸手術、子宮全摘除術の 4 つに変更した為、値が大きくなっている。



## No.11 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

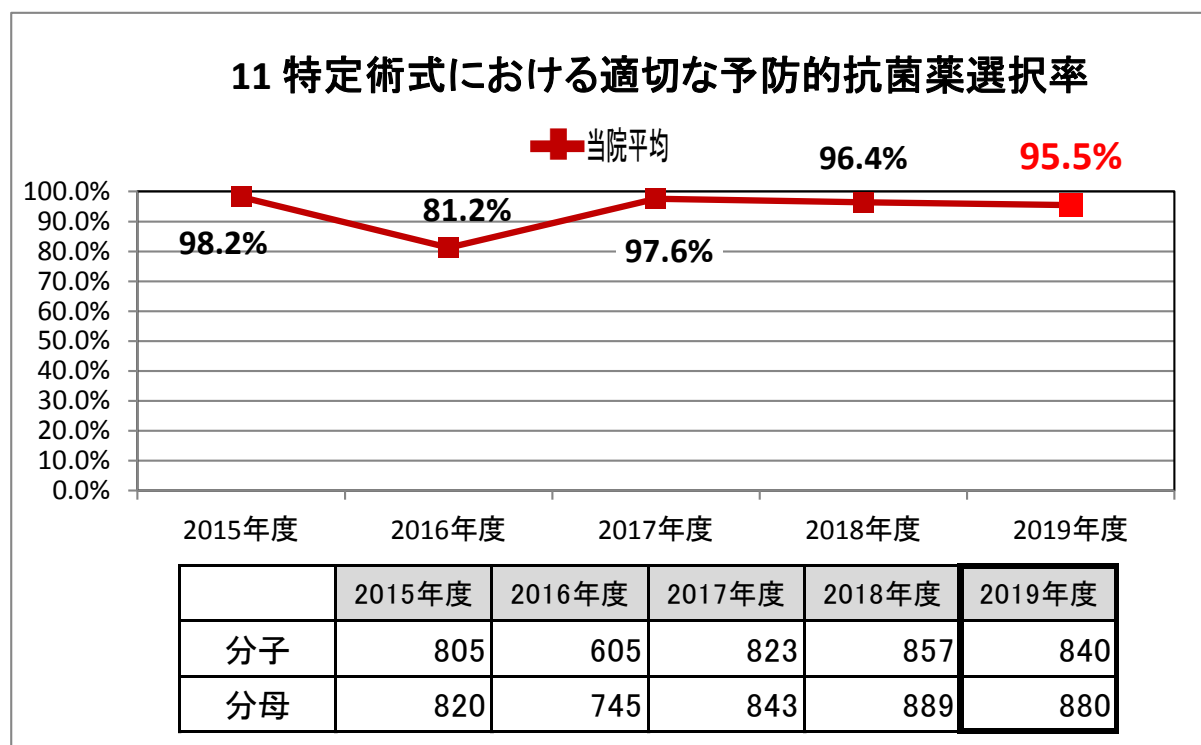
分子 : 術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数

分母 : 特定術式の手術件数 (冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術)

・除外

- 入院時年齢が 18 歳未満の患者
- 在院日数が 120 日以上の患者
- 帝王切開手術施行患者
- 臨床試験・治験を実施している患者
- 術前に感染が明記されている患者
- 全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が主たる術式の前後3日(主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は4日)に行われた患者(日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を起点とする)
- 手術室内または回復室内での死亡患者

収集期間: 1ヶ月毎



※抽出期間: 1年間

## No.12-a 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<7.0%

分子 : HbA1c(NGSP)の最終値が7.0%未満の外来患者数

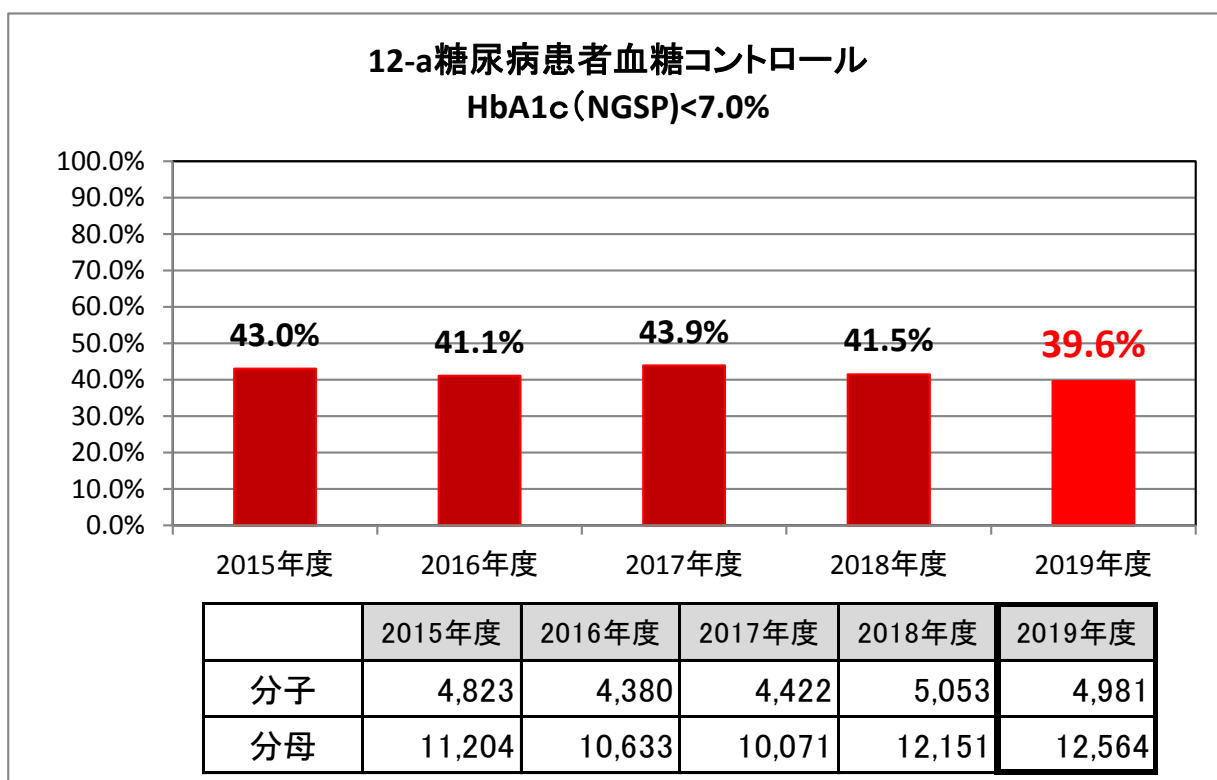
分母 : 糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数

(過去1年間に該当治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者)

・除外

- 運動療法または食事療法だけの患者

収集期間: 1年抽出を3ヶ月毎、年4回



### ※抽出期間

2015年: 2014.7-2015.6、2014.10-2015.9、2015.1-2015.12、2015.4-2016.3

2016年: 2015.7-2016.6、2015.10-2016.9、2016.1-2016.12、2016.4-2017.3

2017年: 2016.7-2017.6、2016.10-2017.9、2017.1-2017.12、2017.4-2018.3

2018年: 2017.7-2018.6、2017.10-2018.9、2018.1-2018.12、2018.4-2019.3

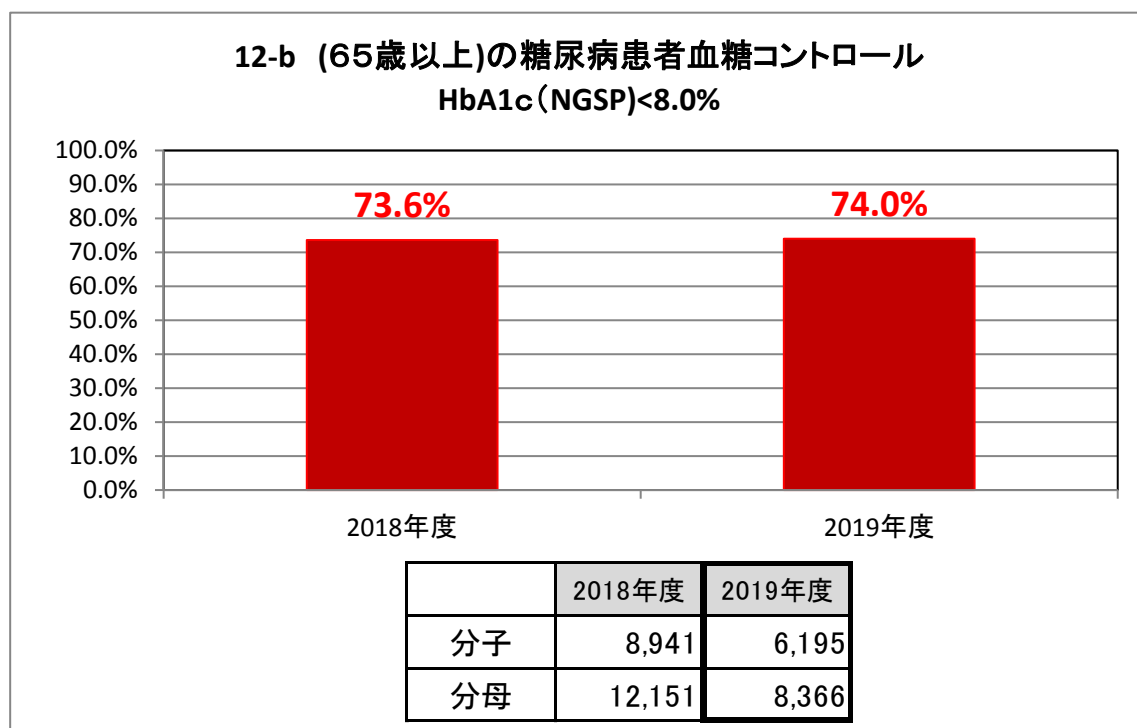
2019年: 2018.7-2019.6、2018.10-2019.9、2019.1-2019.12、2019.4-2020.3

\*年4回抽出の平均値を算出(小数点以下第2位切り捨て)

## No.12-b (65歳以上の)糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<8.0%

- 分子 : 2018年度:HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の外来患者数  
 2019年度:HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の65歳以上の外来患者数
- 分母 : 2018年度:糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数  
 (過去1年間に該当治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者)  
 2019年度:糖尿病の薬物治療を施行されている65歳以上の外来患者数  
 (過去1年間に該当治療薬が外来で合計90日以上処方されている65歳以上の患者)
- ・除外  
 - 運動療法または食事療法のみの患者

収集期間:1年抽出を3ヶ月毎、年4回



### ※抽出期間

2018年:2017.7-2018.6、2017.10-2018.9、2018.1-2018.12、2018.4-2019.3

2019年:2018.7-2019.6、2018.10-2019.9、2019.1-2019.12、2019.4-2020.3

### \*年4回抽出の平均値を算出(小数点以下第2位切り捨て)

※約10年前から国内外の診療ガイドラインでは血糖コントロール値の個別化を推奨しており、低血糖を起こしやすい高齢者等ではHbA1cを7.5%未満に下げないことも推奨されている。

※2018年度にNo.12-b 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<8.0%を新たに掲載したが、上記を踏まえて2019度は65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c(NGSP)<8.0%に変更した。

## 2. 死亡統計

(1) 死亡患者数(死亡退院患者数、外来等死亡患者数)

収集期間: 2019年4月1日～2020年3月31日

定義: 延べ退院患者数に占める死亡退院患者数とその割合

抽出元: 入退院歴、死亡診断書から

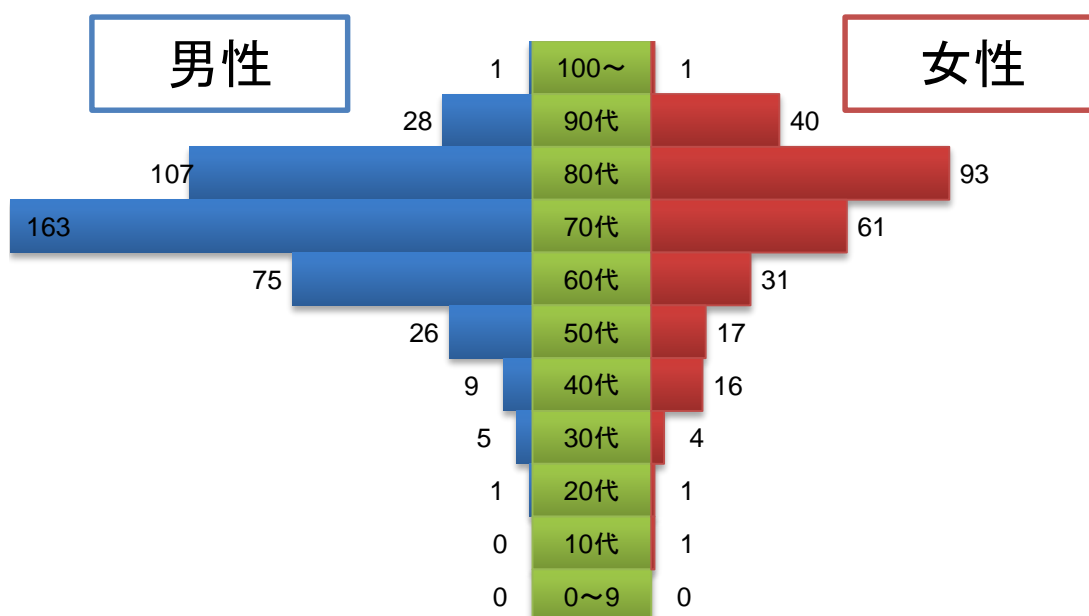
延べ退院患者数	死亡退院患者数	死亡退院患者の割合	外来等死亡患者数
17,848	680	3.8%	133

(2) 性別・年齢階層別死亡退院患者

抽出元: 入退院歴から

性別/年齢	男性	女性	小計
100～	1	1	2
90代	28	40	68
80代	107	93	200
70代	163	61	224
60代	75	31	106
50代	26	17	43
40代	9	16	25
30代	5	4	9
20代	1	1	2
10代	0	1	1
0～9	0	0	0
合計	415	265	680
割合	61.03%	38.97%	100%

年齢階層別・性別 死亡退院患者数



(3)ICD-10 大中分類別死亡退院患者数

集計方法: 死亡退院患者の死亡の原因を死因統計分類に基づいて集計

抽出元: 入退院歴、死亡診断書から

死亡の原因の選択方法:

- ① 各欄について下記の記載内容の場合は除外とし記載されていないものとする。  
(「不詳」・「不明」・「以下余白」・「(空欄)」)
- ② 基本はⅠ欄の最下欄の疾患を死亡の原因とする。  
(エ)から(ア)まで順に検索し、記載があれば採用とする。
- ③ ②で選択された死亡の原因が(ア)の場合、「呼吸不全」・「心不全」が含まれ、かつ死因Ⅱに入力がある場合は、死因Ⅱを採用する。
- ④ 記載が複数の場合は目視にて判断を行う。

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
I	A00-B99	感染症および寄生虫症	40
	A00-A09	腸管感染症	0
	A15-A19	結核	14
	A20-A28	人畜共通細菌性疾患	0
	A30-A49	その他の細菌性疾患	12
	A50-A64	主として性的伝播様式をとる感染症	0
	A65-A69	その他のスピロヘータ疾患	0
	A70-A74	クラミジアによるその他の疾患	0
	A75-A79	リケッチア症	0
	A80-A89	中枢神経系のウイルス感染症	0
	A90-A99	節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱	0
	B00-B09	皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	0
	B15-B19	ウイルス性肝炎	11
	B20-B24	ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	0
	B25-B34	その他のウイルス疾患	1
	B35-B49	真菌症	2
	B50-B64	原虫疾患	0
	B65-B83	ぜんく蠕虫症	0
	B85-B89	シラミ症, ダニ症およびその他の動物寄生症	0
	B90-B94	感染症および寄生虫症の続発・後遺症	0
	B95-B98	細菌, ウイルスおよびその他の病原体	0
	B99	その他の感染症	0
II	C00-D48	新生物<腫瘍>	344
	C00-C14	口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物<腫瘍>	4
	C15-C26	消化器の悪性新生物<腫瘍>	149
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	60

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	C40-C41	骨および関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	0
	C43-C44	皮膚の黒色腫およびその他の皮膚の悪性新生物<腫瘍>	1
	C45-C49	中皮および軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	6
	C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	25
	C51-C58	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	23
	C60-C63	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	6
	C64-C68	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	9
	C69-C72	眼, 脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>	1
	C73-C75	甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	2
	C76-C80	部位不明確, 続発部位および部位不明の悪性新生物<腫瘍>	4
	C81-C96	リンパ組織, 造血組織および関連組織の悪性新生物<腫瘍>, 原発と記載されたまたは推定されたもの	37
	C97	独立した(原発性)多部位の悪性新生物<腫瘍>	0
	D00-D09	上皮内新生物<腫瘍>	0
	D10-D36	良性新生物<腫瘍>	0
	D37-D48	性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	17
Ⅲ	D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	3
	D50-D53	栄養性貧血	0
	D55-D59	溶血性貧血	0
	D60-D64	無形成性貧血およびその他の貧血	1
	D65-D69	凝固障害, 紫斑病およびその他の出血性病態	2
	D70-D77	血液および造血器のその他の疾患	0
	D80-D89	免疫機構の障害	0
Ⅳ	E00-E90	内分泌, 栄養および代謝疾患	4
	E00-E07	甲状腺障害	0
	E10-E14	糖尿病	3
	E15-E16	その他のグルコース調節および膵内分泌障害	0
	E20-E35	その他の内分泌腺障害	0
	E40-E46	栄養失調(症)	0
	E50-E64	その他の栄養欠乏症	0
	E65-E68	肥満(症)およびその他の過栄養<過剰摂食>	0
	E70-E90	代謝障害	1
Ⅴ	F00-F99	精神および行動の障害	1
	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害	1
	F10-F19	精神作用物質使用による精神および行動の障害	0
	F20-F29	統合失調症, 統合失調症型障害および妄想性障害	0

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	F30-F39	気分[感情]障害	0
	F40-F48	神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害	0
	F50-F59	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	0
	F60-F69	成人の人格および行動の障害	0
	F70-F79	知的障害<精神遅滞>	0
	F80-F89	心理的発達の障害	0
	F90-F98	小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0
	F99	詳細不明の精神障害	0
VI	G00-G99	神経系の疾患	2
	G00-G09	中枢神経系の炎症性疾患	0
	G10-G14	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	1
	G20-G26	錐体外路障害および異常運動	1
	G30-G32	神経系のその他の変性疾患	0
	G35-G37	中枢神経系の脱髄疾患	0
	G40-G47	挿間性および発作性障害	0
	G50-G59	神経, 神経根および神経そう<叢>の障害	0
	G60-G64	多発(性)ニューロパチ<シ>ーおよびその他の末梢神経系の障害	0
	G70-G73	神経筋接合部および筋の疾患	0
	G80-G83	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	0
	G90-G99	神経系のその他の障害	0
VII	H00-H59	眼および付属器の疾患	0
	H00-H06	眼瞼, 涙器および眼窩の障害	0
	H10-H13	結膜の障害	0
	H15-H22	強膜, 角膜, 虹彩および毛様体の障害	0
	H25-H28	水晶体の障害	0
	H30-H36	脈絡膜および網膜の障害	0
	H40-H42	緑内障	0
	H43-H45	硝子体および眼球の障害	0
	H46-H48	視神経および視(覚)路の障害	0
	H49-H52	眼筋, 眼球運動, 調節および屈折の障害	0
	H53-H54	視機能障害および盲<失明>	0
	H55-H59	眼および付属器のその他の障害	0
VIII	H60-H95	耳および乳様突起の疾患	0
	H60-H62	外耳疾患	0
	H65-H75	中耳および乳様突起の疾患	0

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	H80-H83	内耳疾患	0
	H90-H95	耳のその他の障害	0
<b>IX</b>	<b>I00-I99</b>	<b>循環器系の疾患</b>	<b>98</b>
	I00-I02	急性リウマチ熱	0
	I05-I09	慢性リウマチ性心疾患	0
	I10-I15	高血圧性疾患	3
	I20-I25	虚血性心疾患	13
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	3
	I30-I52	その他の型の心疾患	32
	I60-I69	脳血管疾患	35
	I70-I79	動脈, 細動脈および毛細血管の疾患	11
	I80-I89	静脈, リンパ管およびリンパ節の疾患, 他に分類されないもの	1
	I95-I99	循環器系のその他および詳細不明の障害	0
<b>X</b>	<b>J00-J99</b>	<b>呼吸器系の疾患</b>	<b>96</b>
	J00-J06	急性上気道感染症	0
	J09-J18	インフルエンザおよび肺炎	31
	J20-J22	その他の急性下気道感染症	0
	J30-J39	上気道のその他の疾患	0
	J40-J47	慢性下気道疾患	6
	J60-J70	外的因子による肺疾患	32
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	21
	J85-J86	下気道の化膿性およびえく壊死性病態	3
	J90-J94	胸膜のその他の疾患	3
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患	0
<b>X I</b>	<b>K00-K93</b>	<b>消化器系の疾患</b>	<b>33</b>
	K00-K14	口腔, 唾液腺および顎の疾患	0
	K20-K31	食道, 胃および十二指腸の疾患	1
	K35-K38	虫垂の疾患	1
	K40-K46	ヘルニア	0
	K50-K52	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	0
	K55-K64	腸のその他の疾患	10
	K65-K67	腹膜の疾患	1
	K70-K77	肝疾患	14
	K80-K87	胆のう<囊>, 胆管および膵の障害	2
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	4
<b>X II</b>	<b>L00-L99</b>	<b>皮膚および皮下組織の疾患</b>	<b>0</b>



章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	L00-L08	皮膚および皮下組織の感染症	0
	L10-L14	水疱症	0
	L20-L30	皮膚炎および湿疹	0
	L40-L45	丘疹落せつく屑><りんせつく鱗屑>>性障害	0
	L50-L54	じんま<蕁麻>疹および紅斑	0
	L55-L59	皮膚および皮下組織の放射線(非電離および電離)に関連する障害	0
	L60-L75	皮膚付属器の障害	0
	L80-L99	皮膚および皮下組織のその他の障害	0
<b>X III</b>	<b>M00-M99</b>	<b>筋骨格系および結合組織の疾患</b>	<b>7</b>
	M00-M03	感染性関節障害	0
	M05-M14	炎症性多発性関節障害	3
	M15-M19	関節症	0
	M20-M25	その他の関節障害	0
	M30-M36	全身性結合組織障害	2
	M40-M43	変形性脊柱障害	1
	M45-M49	脊椎障害	0
	M50-M54	その他の脊柱障害	0
	M60-M63	筋障害	1
	M65-M68	滑膜および腱の障害	0
	M70-M79	その他の軟部組織障害	0
	M80-M85	骨の密度および構造の障害	0
	M86-M90	その他の骨障害	0
	M91-M94	軟骨障害	0
	M95-M99	筋骨格系および結合組織のその他の障害	0
<b>X IV</b>	<b>N00-N99</b>	<b>腎尿路生殖器系の疾患</b>	<b>17</b>
	N00-N08	糸球体疾患	2
	N10-N16	腎尿細管間質性疾患	1
	N17-N19	腎不全	9
	N20-N23	尿路結石症	1
	N25-N29	腎および尿管のその他の障害	1
	N30-N39	尿路系のその他の疾患	3
	N40-N51	男性生殖器の疾患	0
	N60-N64	乳房の障害	0
	N70-N77	女性骨盤臓器の炎症性疾患	0
	N80-N98	女性生殖器の非炎症性障害	0

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	N99	腎尿路生殖器系のその他の障害	0
X V	O00-O99	妊娠, 分娩および産じょく<褥>	0
	O00-O08	流産に終わった妊娠	0
	O10-O16	妊娠, 分娩および産じょく<褥>における浮腫, タンパク<蛋白>尿および高血圧性障害	0
	O20-O29	主として妊娠に関連するその他の母体障害	0
	O30-O48	胎児および羊膜腔に関連する母体ケア ならびに予想される分娩の諸問題	0
	O60-O75	分娩の合併症	0
	O80-O84	分娩	0
	O85-O92	主として産じょく<褥>に関連する合併症	0
	O94-O99	その他の産科的病態, 他に分類されないもの	0
X VI	P00-P96	周産期に発生した病態	0
	P00-P04	母体側要因ならびに妊娠および 分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	0
	P05-P08	妊娠期間および胎児発育に関連する障害	0
	P10-P15	出産外傷	0
	P20-P29	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	0
	P35-P39	周産期に特異的な感染症	0
	P50-P61	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	0
	P70-P74	胎児および新生児に特異的な 一過性の内分泌障害および代謝障害	0
	P75-P78	胎児および新生児の消化器系障害	0
	P80-P83	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	0
	P90-P96	周産期に発生したその他の障害	0
X VII	Q00-Q99	先天奇形, 変形および染色体異常	1
	Q00-Q07	神経系の先天奇形	0
	Q10-Q18	眼, 耳, 顔面および頸部の先天奇形	0
	Q20-Q28	循環器系の先天奇形	0
	Q30-Q34	呼吸器系の先天奇形	0
	Q35-Q37	唇裂および口蓋裂	0
	Q38-Q45	消化器系のその他の先天奇形	0
	Q50-Q56	生殖器の先天奇形	0
	Q60-Q64	腎尿路系の先天奇形	1
	Q65-Q79	筋骨格系の先天奇形および変形	0
	Q80-Q89	その他の先天奇形	0
	Q90-Q99	染色体異常, 他に分類されないもの	0

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
XVIII	R00-R99	症状, 徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの	16
	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	5
	R10-R19	消化器系および腹部に関する症状および徴候	1
	R20-R23	皮膚および皮下組織に関する症状および徴候	0
	R25-R29	神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	0
	R30-R39	腎尿路系に関する症状および徴候	0
	R40-R46	認識, 知覚, 情緒状態および行動に関する症状および徴候	0
	R47-R49	言語および音声に関する症状および徴候	0
	R50-R69	全身症状および徴候	10
	R70-R79	血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	0
	R80-R82	尿検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	0
	R83-R89	その他の体液, 検体<材料>および 組織の検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	0
	R90-R94	画像診断および 機能検査における異常所見, 診断名の記載がないもの	0
	R95-R99	診断名不明および原因不明の死亡	0
XIX	S00-T98	損傷, 中毒およびその他の外因の影響	14
	S00-S09	頭部損傷	6
	S10-S19	頸部損傷	1
	S20-S29	胸部<郭>損傷	0
	S30-S39	腹部, 下背部, 腰椎および骨盤部の損傷	0
	S40-S49	肩および上腕の損傷	0
	S50-S59	肘および前腕の損傷	0
	S60-S69	手首および手の損傷	0
	S70-S79	股関節部および大腿の損傷	0
	S80-S89	膝および下腿の損傷	0
	S90-S99	足首および足の損傷	0
	T00-T07	多部位の損傷	0
	T08-T14	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	0
	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用	0
	T20-T32	熱傷および腐食	3
	T33-T35	凍傷	0
	T36-T50	薬物, 薬剤および生物学的製剤による中毒	0
	T51-T65	薬用を主としない物質の毒作用	0
	T66-T78	外因のその他および詳細不明の作用	3
	T79	外傷の早期合併症	0

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	T80-T88	外科的および内科的ケアの合併症, 他に分類されないもの	1
	T90-T98	損傷, 中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	0
XX	V01-Y98	傷病および死亡の外因	3
	V01-V09	交通事故により受傷した歩行者	0
	V10-V19	交通事故により受傷した自転車乗員	0
	V20-V29	交通事故により受傷したオートバイ乗員	0
	V30-V39	交通事故により受傷したオート三輪車乗員	0
	V40-V49	交通事故により受傷した乗用車乗員	0
	V50-V59	交通事故により受傷した軽トラック乗員またはバン乗員	0
	V60-V69	交通事故により受傷した大型輸送車両乗員	0
	V70-V79	交通事故により受傷したバス乗員	0
	V80-V89	その他の陸上交通事故	0
	V90-V94	水上交通事故	0
	V95-V97	航空および宇宙交通事故	0
	V98-V99	その他および詳細不明の交通事故	0
	W00-W19	転倒・転落・墜落	1
	W20-W49	生物によらない機械的な力への曝露	0
	W50-W64	生物による機械的な力への曝露	0
	W65-W74	不慮の溺死および溺水	0
	W75-W84	その他の不慮の窒息	0
	W85-W99	電流, 放射線ならびに極端な気温および気圧への曝露	0
	X00-X09	煙, 火および火炎への曝露	0
	X10-X19	熱および高温物質との接触	0
	X20-X29	有毒動植物との接触	0
	X30-X39	自然の力への曝露	0
	X40-X49	有害物質による不慮の中毒および有害物質への曝露	0
	X50-X57	無理ながんばり, 旅行および欠乏状態	0
	X58-X59	その他および詳細不明の要因への不慮の曝露	0
	X60-X84	故意の自傷および自殺	2
	X85-Y09	加害にもとづく傷害および死亡	0
	Y10-Y34	不慮か故意か決定されない事件	0
	Y35-Y36	法的介入および戦争行為	0
	Y40-Y59	治療上の使用により有害作用を引き起こした薬物, 薬剤および生物学的製剤	0
	Y60-Y69	外科的および内科的ケア時における患者に対する医療事故	0
	Y70-Y82	治療および診断に用いて副反応を起こした医療用器具	0

章	ICD10	名称	死亡退院患者数
	Y83-Y84	患者の異常反応または後発合併症を生じた外科的およびその他の医学的処置で、処置時には事故の記載がないもの	0
	Y85-Y89	傷病および死亡の外因の続発・後遺症	0
	Y90-Y98	他に分類される傷病および死亡の原因に関する補助的因子	0
<b>XX I</b>	<b>Z00-Z99</b>	<b>健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用</b>	<b>1</b>
	Z00-Z13	検査および診査のための保健サービスの利用者	0
	Z20-Z29	伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者	0
	Z30-Z39	生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	0
	Z40-Z54	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	0
	Z55-Z65	社会経済的環境および社会心理的環境に関連する健康障害をきたす恐れのある者	0
	Z70-Z76	その他の環境下での保健サービスの利用者	0
	Z80-Z99	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1
<b>XX II</b>	<b>U00-U89</b>	<b>特殊目的用コード</b>	<b>0</b>
	U00-U49	原因不明の新たな疾患またはエマージェンシーコードの暫定分類	0
	U82-U85	抗菌薬および抗腫瘍薬への耐性	0

(4)ICD-10 大分類別死亡退院患者数(上位5分類)

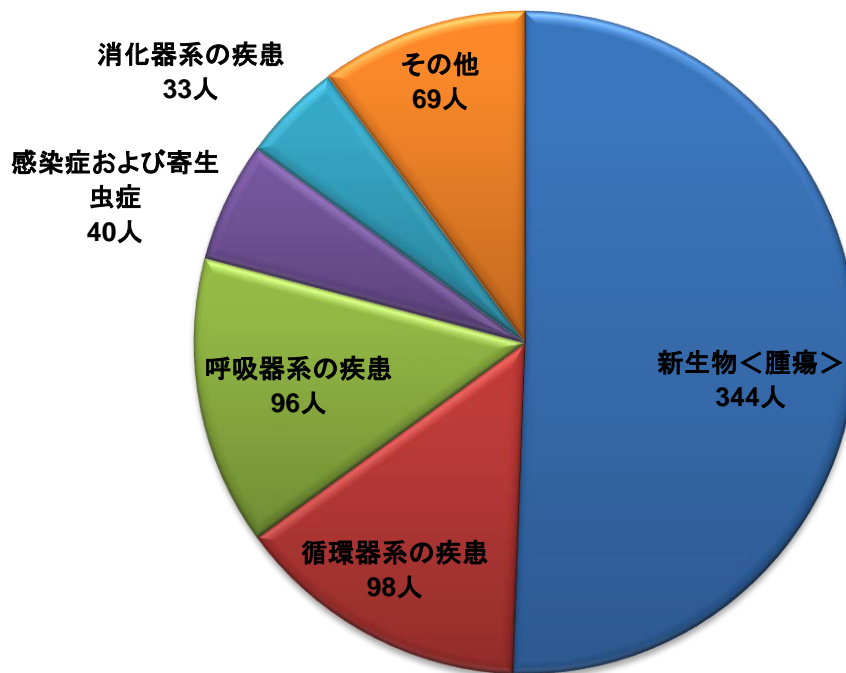
集計方法: 死亡退院患者の死亡の原因を死因統計分類に基づいて集計

集計数が6位以下の項目は、その他として合計件数を集計

抽出元: 入退院歴、死亡診断書から

死亡の原因章分類	死亡退院患者数
新生物<腫瘍>	344
循環器系の疾患	98
呼吸器系の疾患	96
感染症および寄生虫症	40
消化器系の疾患	33
その他	69

死亡退院患者に占める各章死亡の原因の割合



### 3. 剖検数

収集期間:2015 年4月1日～2020 年3月 31 日

定 義:当院で実施された病理解剖数

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
死亡数	725	748	668	636	680
剖検数	13	25	15	13	13

## 4. 退院後 28 日以内の再入院数(目的別)

収集期間：2019年4月1日～2020年3月31日

調査目的：DPC 制度では、高い包括点数を得ることを目的として、短期間での再入院を繰り返す粗診粗療の増加が懸念される。

治療が不十分なままに退院したために再入院が増加していないかを毎年度調査し、評価を行う。

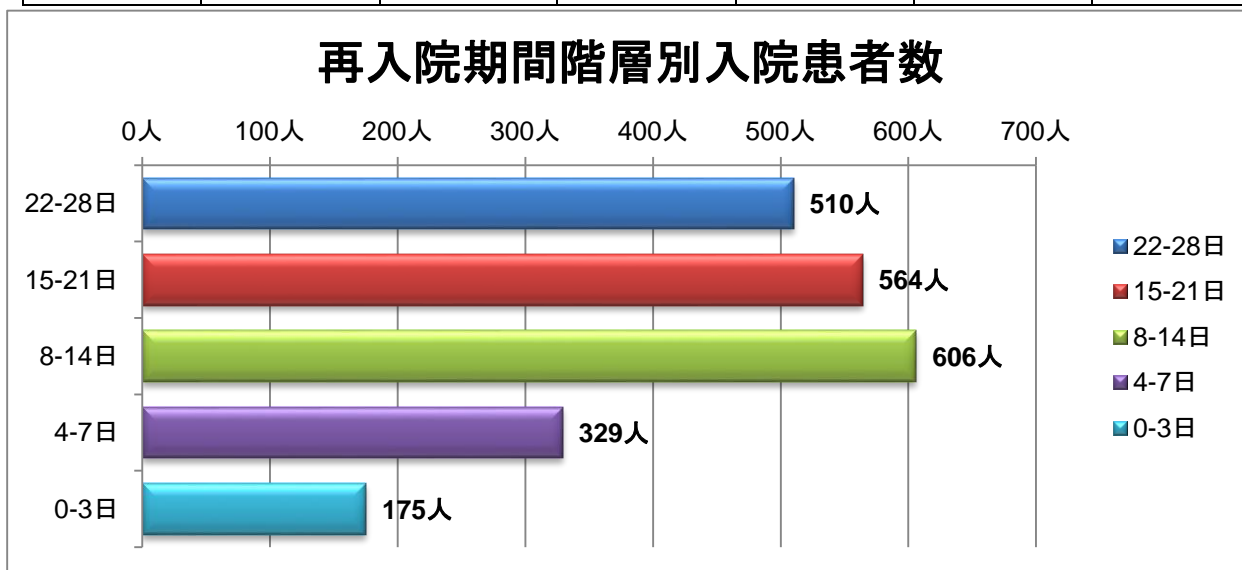
抽出方法：DPC様式1(データベース)から、再入院種別及び再入院理由の種別を下記のように区分し、短期間での再入院(前回退院から4週間以内の再入院)についてまとめた。

再入院種別	再入院理由の種別
計画的再入院	1 前回入院で術前検査を行い、今回入院で手術を行うため
	2 前回入院以前に手術を行い、今回入院で計画的に術後の手術・処置・検査を行うため
	3 計画的な化学療法のため
	4 計画的な放射線療法のため
	5 前回入院時、予定された手術・検査等が実施できなかったため
	6 患者の QOL 向上のため一時帰宅したため
	7 その他
計画外の再入院	1 原疾患の悪化、再発のため
	2 原疾患の合併症発症のため
	3 前回入院時の入院時併存症の悪化のため
	4 前回入院時の入院後発症疾患の悪化のため
	5 前回入院時の手術・処置や治療の合併症が退院後に発症したため
	6 新たな他疾患発症のため
	7 その他

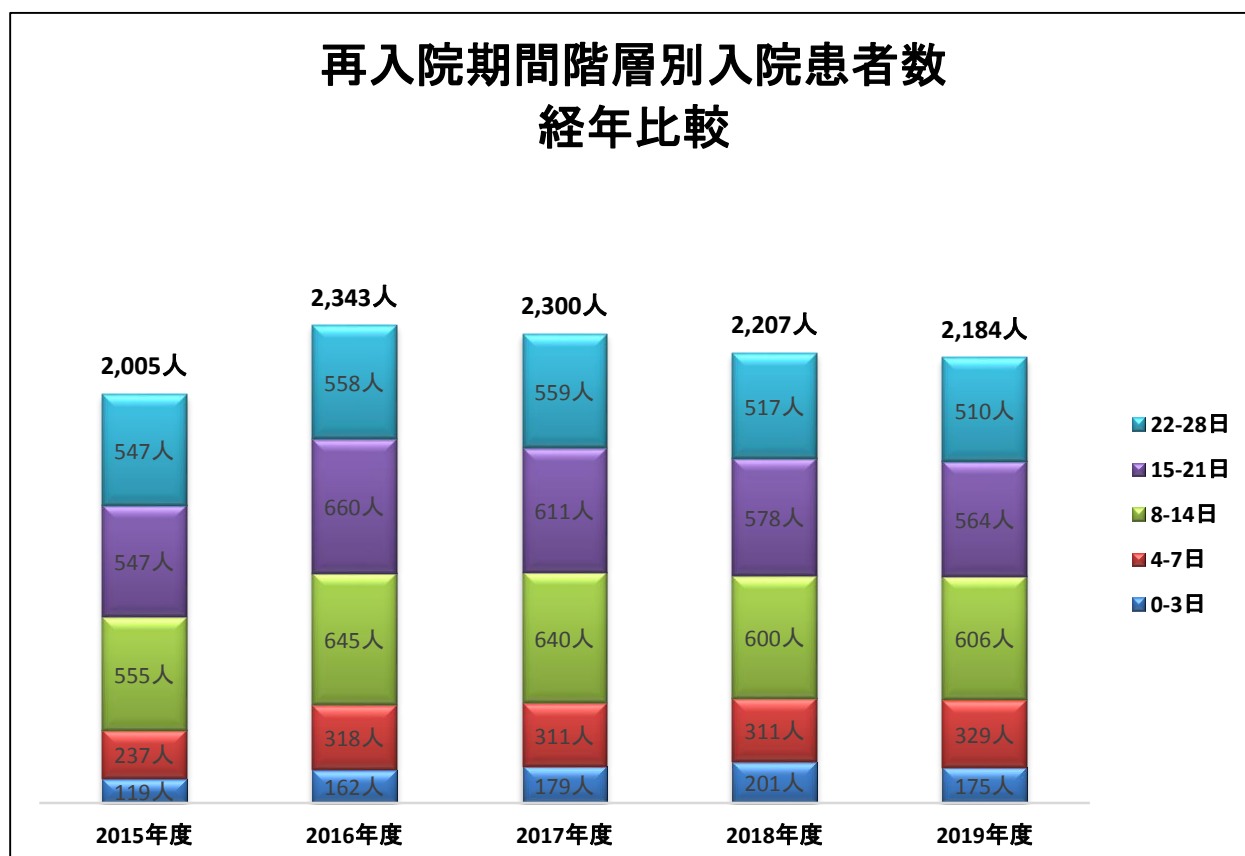


1) 前回退院から再入院までの日数

日数	0-3日	4-7日	8-14日	15-21日	22-28日	合計
患者数	175	329	606	564	510	2,184

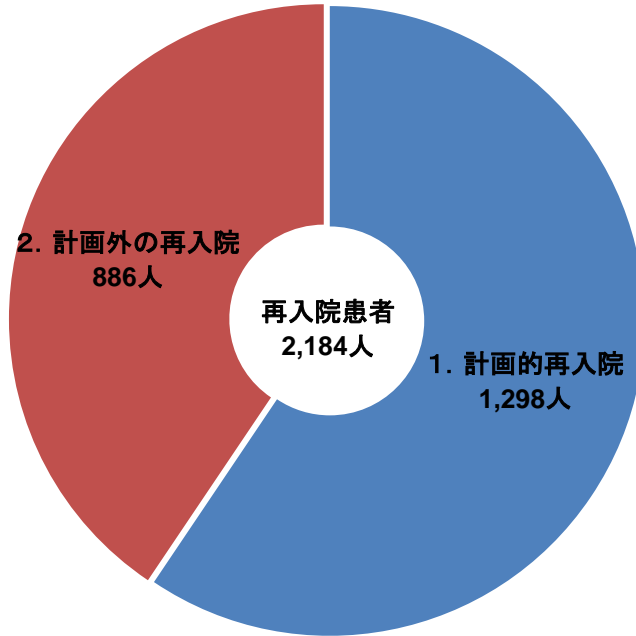


2) 前回退院から再入院までの日数の経年比較

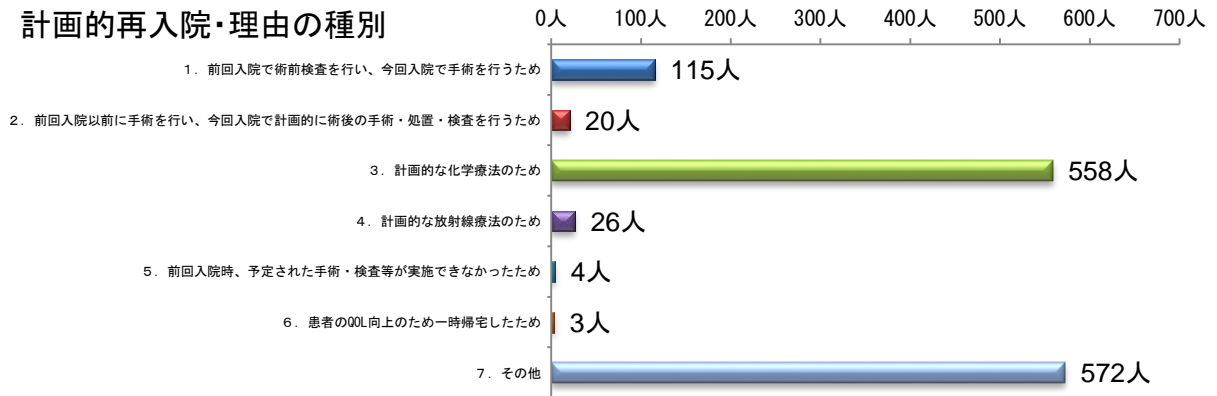


3)再入院種別退院後 28 日以内の再入院患者数

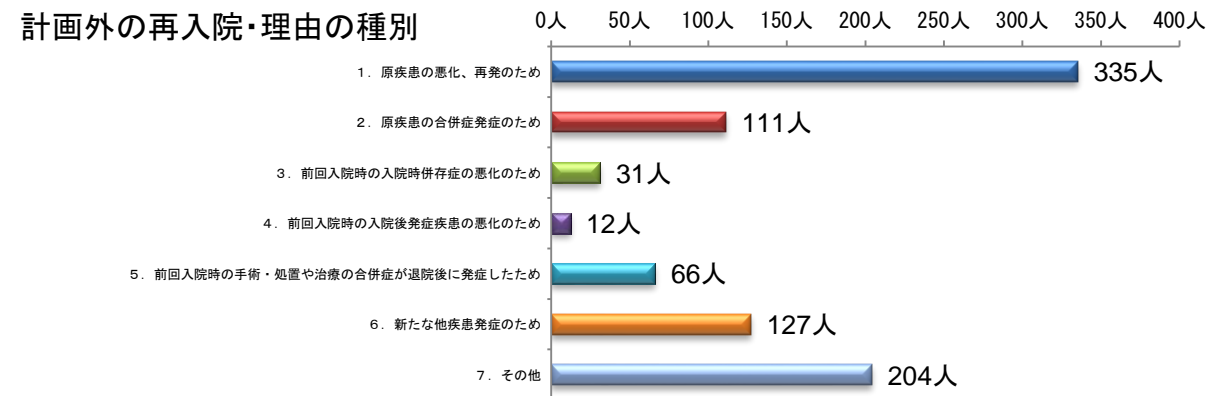
### 28日以内再入院患者・再入院種別



#### 計画的再入院・理由の種別

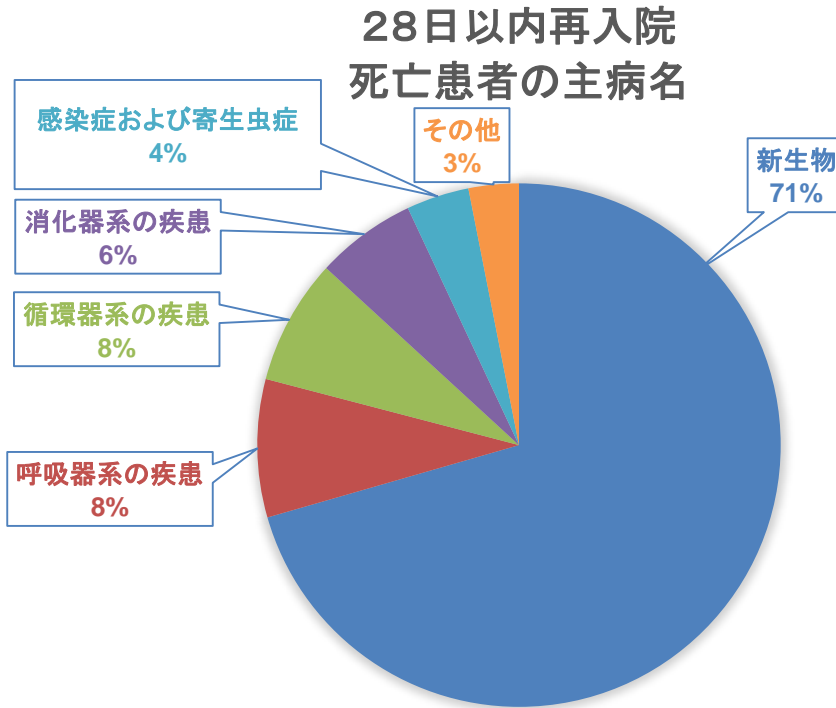


#### 計画外の再入院・理由の種別



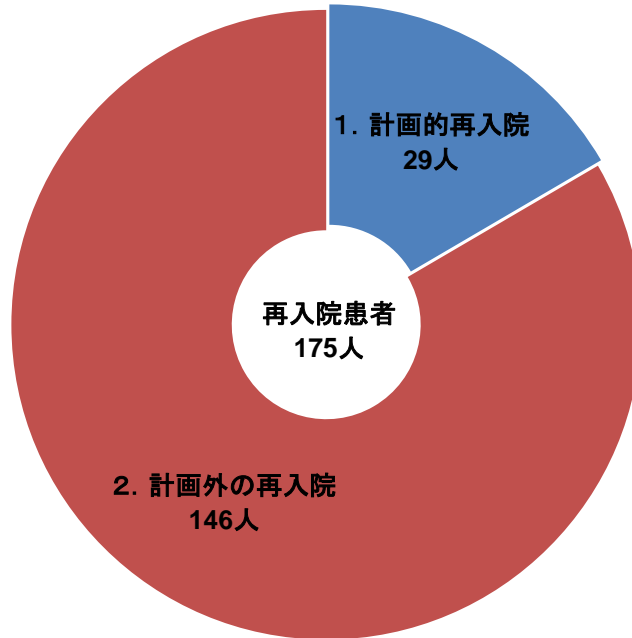
4) 退院後 28 日以内の再入院の後死亡した患者の主病名

在院日数	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31-35	36-40	41 日以降
患者数	21	20	17	10	15	10	10	5	21

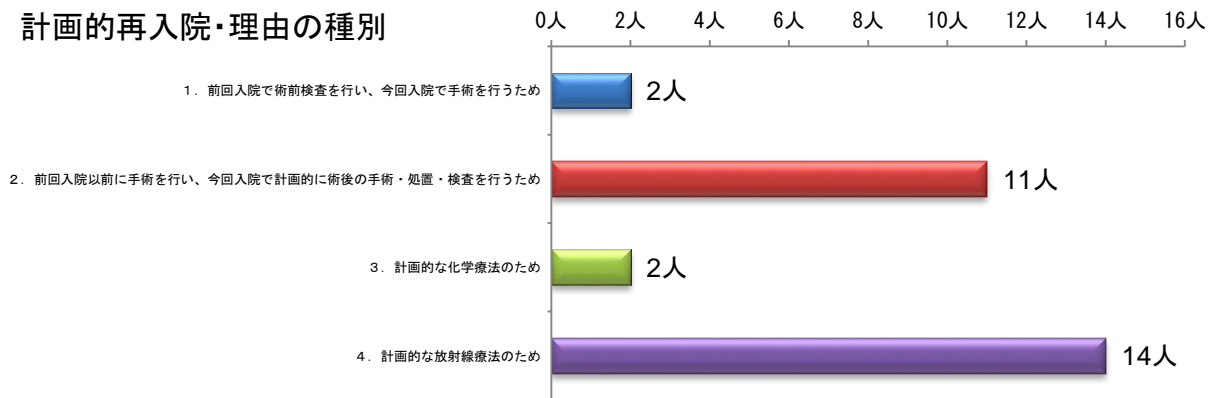


5)再入院種別退院後3日以内の再入院患者数

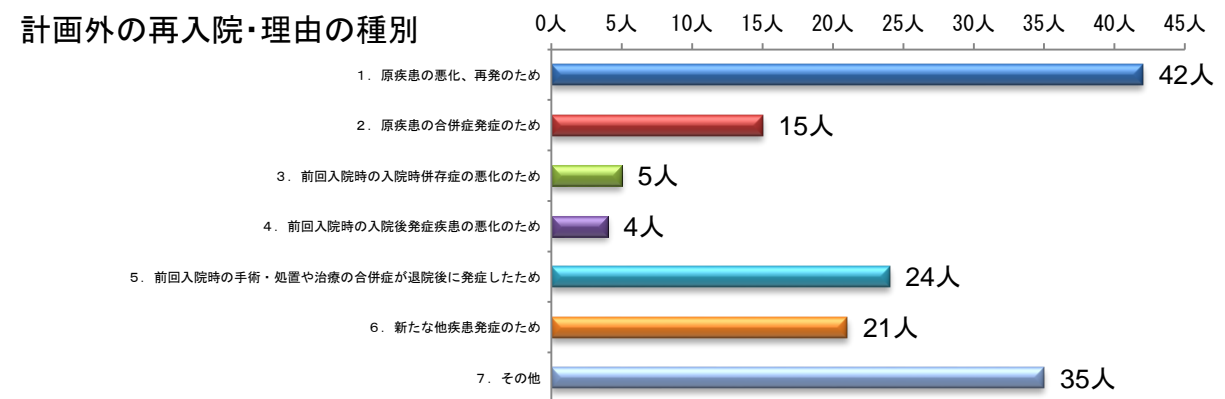
### 3日以内再入院患者・再入院種別



#### 計画的再入院・理由の種別

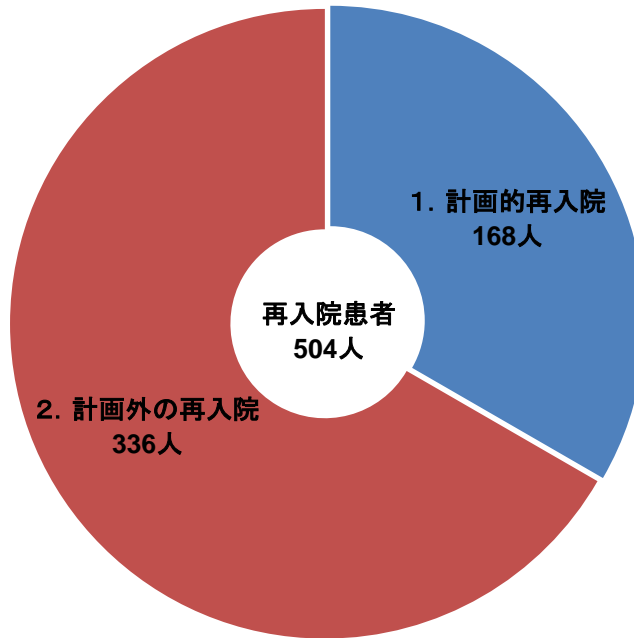


#### 計画外の再入院・理由の種別

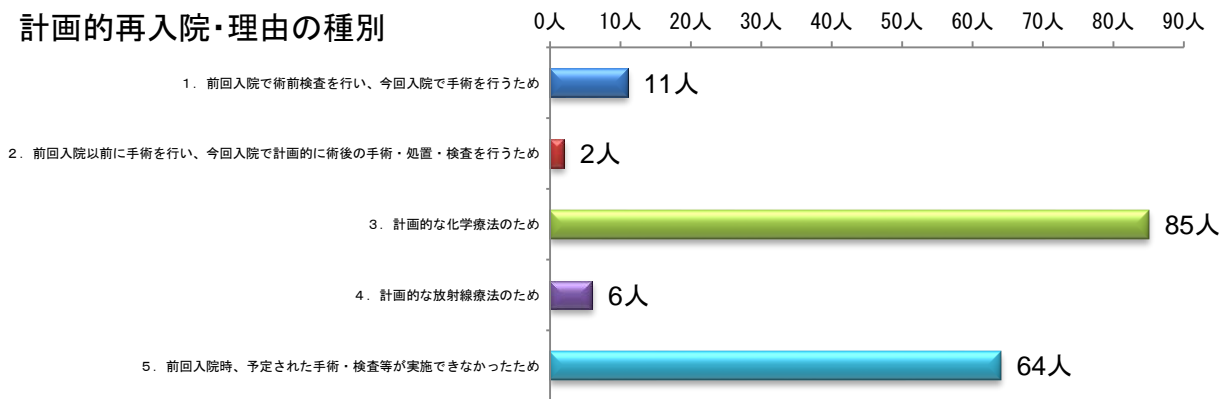


6)再入院種別退院後7日以内の再入院患者数

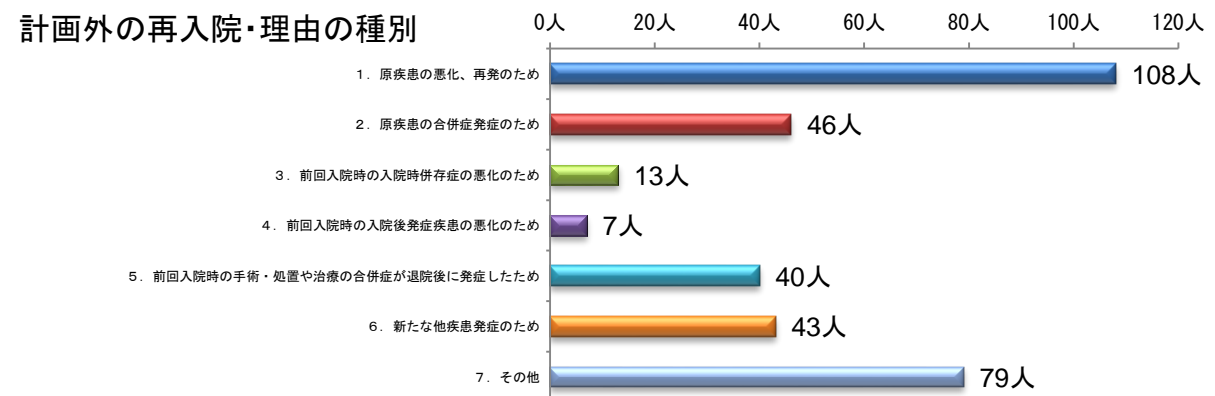
### 7日以内再入院患者・再入院種別



#### 計画的再入院・理由の種別



#### 計画外の再入院・理由の種別



## 5. 手術統計

収集期間：2019年4月1日～2020年3月31日

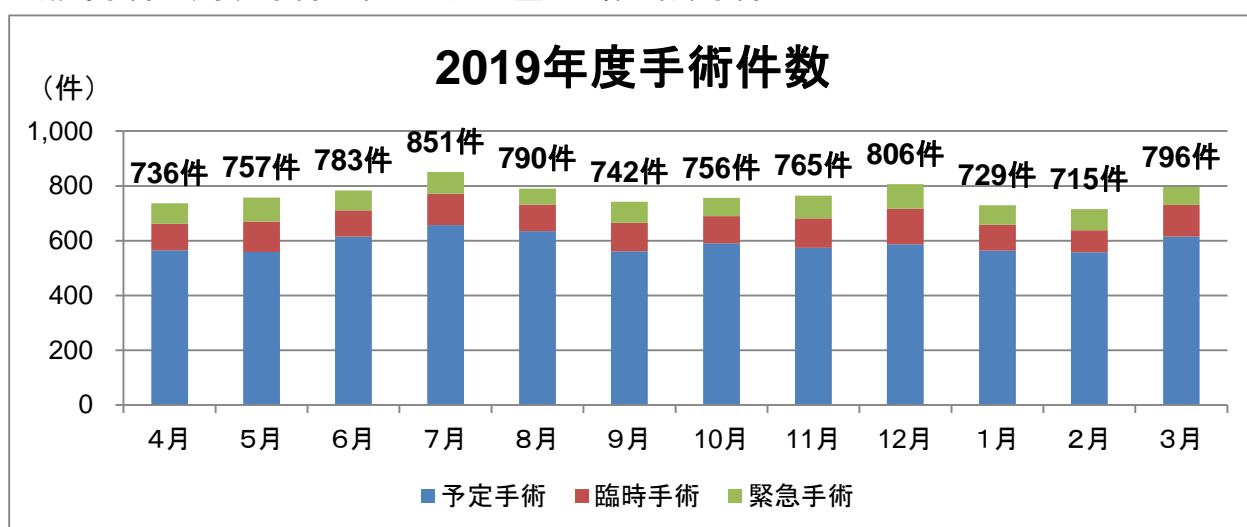
抽出方法：手術管理システムから、手術室にて施行された手術の件数のみをまとめた。

- ・手術開始時間が登録されていない手術は中止とみなし除外している。
- ・麻酔別件数の麻酔法名称は手術管理システムの名称を参照している。

### ■月別手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
予定手術	564	559	615	657	635	561	590	574	587	563	558	615	7,078
臨時手術	98	111	96	114	97	104	100	107	130	95	80	116	1,248
緊急手術	74	87	72	80	58	77	66	84	89	71	77	65	900
合計	736	757	783	851	790	742	756	765	806	729	715	796	9,226

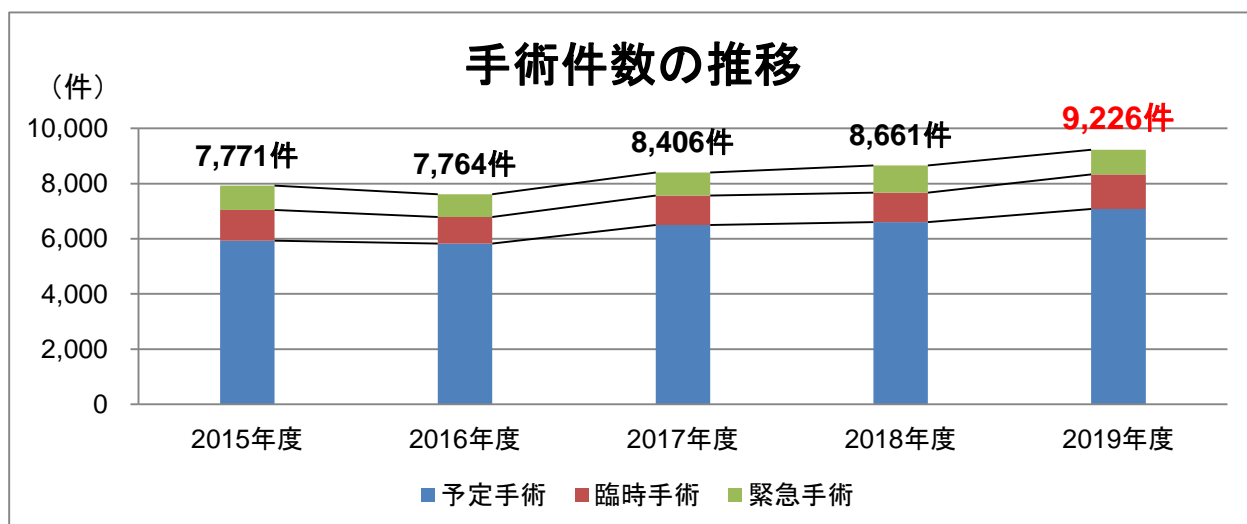
※臨時手術は、予定手術が中止になって空いた枠で行う手術



### ■手術件数の経年推移

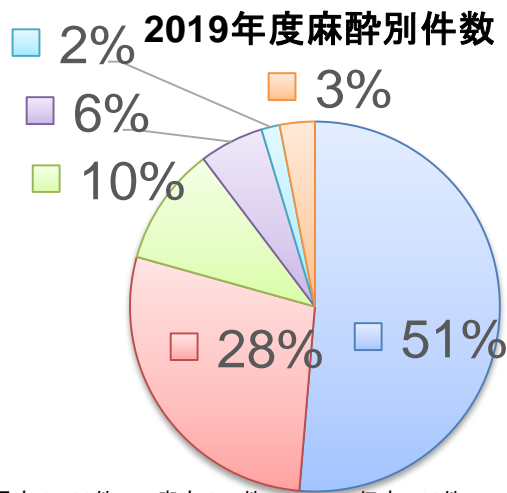
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
予定手術	5,932	5,825	6,499	6,604	7,078
臨時手術	1,111	961	1,072	1,065	1,248
緊急手術	878	828	835	992	900
合計	7,771	7,764	8,406	8,661	9,226

※臨時手術は、2015年2月から集計開始



■麻酔別件数経年推移

種別	麻酔法	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
全麻	全身麻酔(TIVA)	4,017	1,698	4,474	1,829	4,646	1,721	4,737	1,784
	全身麻酔(TIVA)+伝麻		57		36		40		49
	全身麻酔(TIVA)+硬		773		814		714		735
	全身麻酔(TIVA)+脊麻		4		3		7		1
	全身麻酔(吸入)		1,026		1,335		1,535		1,621
	全身麻酔(吸入)+伝麻		34		36		64		69
	全身麻酔(吸入)+硬		424		420		558		478
	全身麻酔(吸入)+脊麻		1		1		0		0
	全麻(自科)		0		0		7		0
局麻	局麻	1,982	1,871	2,136	2,009	2,147	1,976	2,582	2,391
	球後(自科)		111		127		171		191
脊麻	脊髄くも膜下麻酔	937	110	924	130	933	126	957	147
	脊麻(自科)		827		794		807		810
伝麻	伝達/上下肢(自科)	489	420	512	471	523	469	520	447
	伝達麻酔/上下肢		8		2		2		1
	伝達麻酔/顔頭頸(自科)		6		0		5		2
	神経ブロック		0		1		0		0
	ブロック(自科)		55		38		47		70
硬+脊	硬+脊	162	162	146	146	177	177	148	148
その他	硬膜外麻酔	177	3	214	4	235	1	282	3
	静麻(単純)		0		1		0		0
	静麻(自科)		174		209		234		279
合計			7,764		8,406		8,661		9,226



- 全麻 4,737件
  - 全身麻酔(TIVA)
  - 全身麻酔(TIVA)+伝麻
  - 全身麻酔(TIVA)+硬
  - 全身麻酔(TIVA)+脊麻
  - 全身麻酔(吸入)
  - 全身麻酔(吸入)+伝麻
  - 全身麻酔(吸入)+硬
- 局麻 2,582件
  - 局麻
  - 球後(自科)
- 脊麻 957件
  - 脊髄くも膜下麻酔
  - 脊麻(自科)
- 伝麻 520件
  - 伝達/上下肢(自科)
  - 伝達麻酔/上下肢
  - 伝達麻酔/顔頭頸(自科)
  - ブロック(自科)
- 硬+脊 148件
  - 硬+脊
- その他 282件
  - 硬膜外麻酔
  - 静麻(自科)

■旧システムの麻酔別件数経年推移(2015年度には、現行システム(2016.1~)の範囲が含まれます)

	全麻	全+硬	全+伝	全+脊、伝	脊麻	脊+閉	硬+脊	伝麻	静麻	その他	総計
2015年度	2,524	1,378	49	3	876	55	162	499	204	35	7,771